大正九年十二月廿四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊 十月六日

本紙一部五錢 一ヶ月壹圓
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
發行人 河本榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

東亞新秩序建設の促進緊急議案決議
全聯本會議第七日（午前）

全國聯合協議會第七日目は六日午前九時より開會、一同起立國旗に對する敬禮のゝち濱江省代表賀萬秀氏起つて緊急議案たる、「東亞新秩序建設促進に關する件」を上程、提案理由として

隣邦支那における和平統一の機運は日を追つて益々濃厚となり、日滿支三國を貫く東亞新秩序の建設その緒に就かんとしつゝある時、これが據點としての重要任務を負ふわれわれ滿洲帝國協和會員は進んで日支兩國に對し東亞新秩序建設の促進を決議顯揚し以て東亞の鴻業を扶翼したい

旨を强調すれば滿場急霰の拍手をもつてこれに贊同、丁議長より本件の起草は文案起草委員會に附託しその他に關しては中央本部に一任されたいと述べ、直ちに午前十時より本部委員會室において開催の文案起草委員會に附託、決議文は日本帝國總理大臣、中華民國臨時政府、維新政府、蒙古聯合自治政府各主席宛それぞれ送附されることゝなつた、次いで于治安部大臣より施政方針の説明があつた

中小商業者振興問題
全聯本會議論戰高潮（朝刊續き）

五時三分再開、谷副議長議長席につく

一、第卅八號議案 中小商業者の振興に關する件（奉天）

一、第卅九號 同業組合法制定促進に關する件（奉天）

を一括上程、奉天省代表松崎義造氏四項に亙り質問、次いで東安代表王玉生氏東安省の實狀を述べ、次いで牡丹江代表喜多豐援氏卸賣商の窮狀についで述べたるのち

一、卸賣商を配給機構に入れる意志ありや

二、若し不可能なれば理由如何

と質問、次いで濱江省代表劉維廉、北安省代表久保宏一氏よりもそれぞれ質問あり、山梨經濟部商務司長登壇

一、統制に當つて中小商工業者を尊重するが轉業者が出た場合どうするかと云ふ點について先づ業者は尊重すると答へる、時代の脚光を浴びたものとさうでないものとに對し國家が思ふ心に二つはない、中小商工業者は時代の落伍者となつてはいけない、さうなれば滿洲國の統制經濟は不成功である、たゞこれからの業者は國家の附託に應へると云ふ覺悟が必要である、轉業者は工業者と思ふが生產必需品中には輕工業、家內工業に關するものは入つてゐない、輕工業、家內工業の振興には力を入れたい

二、同業組合法の精神は從來のものと異り、業者の利益保護のみでなく國家統制の立場からも考へてゐる

三、制定の時期は近き將來に公布される

四、消費組合については品目の制限、組合員外の利用排除は同感であり、實行したいが後者は事實問題として仲々行はれ難く、德義心に訴へて行ひたい、東安省の質問に對してお答する、農民相手の商人が必需品會社が現金制なのでお困りのことは諒解するが、必需品會社は現金制で利益を少くしてゐるので仲々難しい、併し地方の事情を考慮し適當な方法を考へたい、牡丹江代表の卸賣商のことについては政府は未だ卸賣を見殺しにすると云ふやうなことを聲明したことはない、寧ろ如何にして之を生かすかを考へ場所によつてはその資本と配給機構をそのまゝ利用したいとも考へてゐる

濱江省御質問の中小商工業者に對する金融については經濟部としては金融合作社をして行はしめてゐるからこれが御活用を願ひたい、興安北省からの手數料の問題については手數料の決定に當り業者の生活が維持出來るやうな適正なるものとする考である、商工公會についでは來年度から財的補助をしいと考へてゐる

奉天代表李祝三、錦州代表孟廣文、錦州省代表賁印瑄、三江代表永田武臣、牡丹江代表喜多豐援の諸氏より質問あり山梨商務司長再登壇、質問各項に亙り詳細に説明更に東安代表王玉生、奉天代表松崎義造兩氏より希望意見の開陳あり採決に入り中央本部一任として午後七時廿四時休息

八時卅七分再開

第四十號議案 生活必需品株式會社に關する件（奉天吉林）

第四十三號議案 國境地區における生活必需品配給に關する件（吉林、黑河）

を一括上程、奉天代表石井芳氏

現在國家が行つてゐる統制品中米、小麥粉、石炭は却つて高くなつてゐるやうだが政府の統制が細部まで行き渡つてゐないことであると前提し

一、統制のため商業機構が急激に變化しつゝあるが對策如何

三、統制不備のため却つて高物價を招來しつゝあるが對策如何

三、生活必需品會社に對し（イ）取引に差別を設けずとあるが取引の語の中に値段を含むか（ロ）既存組合と卸賣商の提携に具體案ありや（ハ）會社の一元的配給物資は如何なる形で小賣業者に配給するか

續いて奉天代表伊藤滿八氏

一、必需品會社創立の精神並に方針として掲げられた必需品の獨占配給により消費組合にも小賣業者にも同樣の値段で供給すると云ふが近頃では必需品會社は各種銀行會社に消費組合の結成を慫慂してゐる、これは當の初の精神と矛盾するがどうか

二、若し事實なれば小賣業者の死活問題と思ふがどうか

と鋭くつめより更に吉林代表金東淳氏は全體主義國家における統制政策と協和主義國家における統制政策との比較論をはじめ谷副議長より再三注意を受けて打ち切り後を承つた

吉林代表今村清氏 必需品會社による獨占配給を實施するに當り根本となるのは現在小賣商がどれだけあるかと云ふことが問題を決定する、若し多過ぎれば落伍して轉向の他はないこの調査に對策は出來てゐるか

奉天代表王者鄉氏 必需品會社より小賣商に充分な配給が行はれ得るか

と各代表頗る熱心な態度で當局の所信を質せば山梨經濟部商務司長登壇

政府としては消費組合を積極的に奬勵することは考へてゐないが別扱はしない、必需品會社が消費組合にも小賣業者にも一視同仁であるのが政府の方針である、小賣業者の數の問題については多過ぎるとは考へてゐない、我々が心配してゐるのは統制せぬと日本の如く小賣業者が殖えて共喰ひ狀態に立ち至ることである

と述べ降壇、奉天代表金泰德氏より意見の開陳あり採決に入り中央本部一任となる、次いで

第四十四號議案小麥粉配給圓滑化に關する件（濱江、奉天、龍江、牡丹江、首都）

を上程、牡丹江代表谷榮隆氏牡丹江地方の小麥粉の需給狀態の不圓滑について詳細説明して善處を要望

山梨商務司長 小麥粉は十二月一日より專賣と決定、その趣旨は民食としての重要性を重大視し政府自らこの難問題を背負つて立たうと決意したからである、勿論專賣にしたからといつて小麥粉の量が急に殖えるわけではない、そこで代用品と少麥の增產を圖りこれを緩和しようといふのである、實施上種々困難も伴ふだらうが圓滿なる配給に極力努めようと考へてゐる

と答へ採決に入り中央本部一任、ついで

第四十五號石炭不足對策に關する件（奉天、安東、龍江、首都）

第四十六號燃料配給の圓滑化及び價格統制に關する件（牡丹江、東安、濱江）

を上程、牡丹江代表金應斗氏起つて牡丹江方面における石炭不足の狀態を説明して後

不足分は買へるのか買へないのか

と質問し、更に

林野局は石炭の代用として薪の大量伐採と木炭の製造をなす用意があるか、省內の炭坑の手掘りをなさせるか

龍江代表田村長氏 經濟部の指示する廿萬キロトンの現在の石炭不足は何としてゝも忍ぶが炭質について切込炭の炭質を明示せられたいと前提して

昨年の切込炭は半分土である、本年も半分土であるかどうかをはつきりとお示し願ひたい

と熱辯を揮へば睡氣を吹つ飛ばして滿場哄笑拍手しきりに起る、田村代表更に語をついで

現在配給されてゐる半分土の石炭を以て煉炭を作る考へはないか

と問ふ、產業部風早鑛山司長登壇

本年の石炭の需給狀態を申上げると本年の出炭量は苦力、電力、輸送等の關係から計畫目標には進まないが昨年よりは四百萬キロトンの增產となつてゐる 然るに需要は對日輸出と併せて相當增加してゐるので結局幾分不足を告げるに至つたので統制を緩和し一般炭鑛業の許可限度を最高廿萬キロトンまで引上げ、山元炭價も平均一圓五十錢の値上げを行ひ極力增產に努めてゐる

と概括的説明に止めて降壇、分科委員會附託として午後十一時卅分散會

日滿支を原動力とする自給自足經濟進展
物動計畫・重要討議續行

歐洲戰爭に對する滿洲國の生產擴充計畫並に日滿物動計畫の應急修正に關しては曩に企畫委員會において決定を見た根本方針に基き原案の作成を急ぎつゝあつたが、この程その成果を得たので康德七年度物動計畫及び時局物價政策實施方策、爲替貿易計畫、資金計畫、資金計畫等と一括し日本政府當局と重要會談を行ふため星野總務長官は九日朝飛行機で東上することとなつた、而してこの會談には支那側の代表も出席するものとみられ歐洲動亂を一轉機とする日滿支を打つて一丸とする自給自足經濟は玆に劃期的展開を遂げるものとして各方面の注目を惹くに至つた

即ち右會議の本格的開始は九日の物動計畫討議を皮切りとし十日貿易、爲替計畫、十一十二日生產擴充と數日にわたつて會議を續行する模樣であるが、既に青木金融司長、神田企畫處長の東上によつて會議の豫備折衝が續けられてをり、內田金融科長も九日朝の飛行機で東上會談に參加するが、星野長官の東上によつて重要政策の具體的折衝が行はれるものとみられてゐる

かくて次の東京會議には滿洲國當面の重要經濟問題の悉くが新たなる視野の下に再檢討され日滿兩國を原動力とする東亞新秩序建設工作に對し重大なる拍車を加へるであらう【寫眞は上から星野長官、青木金融司長、神田企劃處長】

教育懇談會

全聯教育問題懇談會は五日午後四時より開拓室において開催民生部より田村教育司長、寺田編審官、武岡企畫科長、近藤普通教育科長、尹督學官呂事務官、中央本部より、山田、丁官、企劃處より峯參事前三部員の他代表十五名出席

一、鮮系教育改善方に關する件（濱江、黑河、通化提出）

一、鮮系中等教育に關する件（吉林、通化提出）

一、鮮系國民學校及び國民優及學校用補助讀本編纂に關する件（北安提出）

一、中等學校新設立に學級增設に關する件（錦州提出）

一、學校教科書配給圓滑化に關する件（龍江、熱河、濱江北安提出）

一、國民科滿語教科書の改編竝に取扱方に關する件（奉天提出）

一、日本留學生制限緩和方に關する件（錦州省提出）

の以上七件につて逐次懇談に移つたが、鮮系代表よりの熱心なる懇請があつたので特に大使館藤木事務官の出席を求めて各省聯鮮系代表と別室において細目にわたる懇談を遂げた結果總督府に對しても善處方を依賴することゝなり、又他の四件については政府側でも充分考慮善處することゝなつて同七時四十五分散會した

現地要望實現圖る
鐵道關係諸議案解決

鐵道關係懇談會は五日午後七時五十分本部久保田開拓主任座長席につき松井鐵路司長外鐵道總局、各代表等十七名出席の下に開催

一、鐵道開設方に關する件（濱江）

其他五議案を一括協議することになり各省代表の提出議案の説明に入り郭代表（濱江）永田代表（三江）より省縣產物等の豐富、產業上國策上是非必要なる旨を力說し大體如何なる方法で何時頃敷設の豫定を樹てゝ居らるゝや

と政府側の説明を求め、續いて永田代表（三江）立川代表（東安）詳細に亙つて道路建設狀態等を説明し、政府の援助を懇請する、盧代表（安東）もほゞ同じ理由を述べ政府の意圖はどうかはつきりして戴きたい旨を述べる、次いで

一、穀物出廻運送貨車の配車增加に關する件

一、小蒿子ラマ甸子間運糧貨車の配車增加に關する件

等について李代表（龍江）提出理由について述べ是非協力實現されたき旨を强調する、之等の提出議案に對する一括答辯として

松井鐵路司長 皆樣の意のあるところは充分解つてゐる

旨を强調

鐵道の建設は國全體の立場から政府が敷設計畫を樹てこれで計畫を進めて居るので一地方利害のみで考へられぬことをよく理解して戴きたい、それも急を要する順序に從つて敷設して居る、緊急度合の大なる方から取りかゝつて居るかこの點よく御了解願ひたい、いろいろな點から新設計畫と云ふことはなかなか難かしいのではないかと思ふ

と新設計畫の困難な旨を説き敷設線が決定して居つて甚だ御氣の毒であるが、御提案は當分見込みのないものと御諒解を願ひたい

と氣の毒さうに答へ個々の提案につき微に入り細に亙つて叮寧に説明の後各代表政府の説明を諒とし採決に入り全提案解決となり午後十時四十分散會

故小橋一太氏に特旨敍位御沙汰

【東京國通】長き患りでは前東京市長故小橋一太氏の生前憲政竝に市政等に盡せる功勞顯著なるを思召され五日左の如く授勳竝に特旨敍位の御沙汰あらせられた

從三位勳一等 小橋一太

敍正三位（特旨を以て位一級被進）授旭日大綬章

滿洲國軍に投じ國境戰に勇戰
ビンバー大尉戰死す

外蒙古獨立の野望に燃え同志と相圖つてその機を窺ひつゝあつたタムスク駐屯外蒙第六師團宣傳班長ビンバージャップ大尉は昨年八月十九日身邊に危險を感じたので滿洲國への脫走を決意し、數線にわたる國境の警戒線を突破し、ホロンバイルの曠野をつゝ走り廿一日興安北省ハンペンスムに辿りつき滿洲國への脫走に成功した、その後ビンバー大尉は滿洲國官憲の保護を受け烈々たる意氣に燃え、外蒙の獨立を叫びつゝあつたが、今夏偶々滿蒙國境事件勃發するや滿洲國軍に從軍し、敵彈雨飛の戰線にあつて某軍要任務に服しつゝあつたが九月七日午前八時十分ノロ高地においてソ聯軍の集中砲火を浴び、身に數彈を受け壯烈な戰死を遂げた【寫眞はビンバージャップ大尉とその遺書】

人事往來

着京

▲藤井光藏氏（會社員）六日來京ヤマトホテル
▲福島三好氏（同）同
▲三神吾郞氏（同）同
▲小松正則氏（同）同
▲井上義夫氏（同）同
▲梅木亮氏（同）同
▲尾槇武熊氏（修養團講師）同
▲山崎喜次氏（會社員）同
▲福島清氏（同）同
▲門脇正氏（同）同
▲脇野兼雄氏（官吏）同
▲永井研二氏（同）同
▲南宮政吉氏（日滿商事）三國ホテル
▲南口外次郎氏（木材商）同
▲高田庄助氏（會社員）同
▲佐野忠二郎氏（官吏）同
▲皆倉昌稔氏（同）同
▲松尾升夫氏（會社員）同
▲小野由耕氏（同）同
▲岩根元三氏（滿鐵社員）同
▲山本榮助氏（會社員）同
▲朝倉襄治氏（同）同
▲飯田昌三氏（同）同
▲林重作氏（滿炭社員）同
▲牧野清助氏（同）同
▲松井辰一氏（會社員）同
▲久保山雄三氏（出版業）國都ホテル
▲中田耕作氏（木材商）同
▲鎌倉嚴氏（滿洲柞蠶會社重役）同
▲小鍛治直芳氏（鞍山建材會社）同
▲光岡清氏（日滿商事）同
▲友成靖一氏（三菱社員）同
▲白井涼吉氏（滿洲沿鑛）同
▲川口清次郎氏（同）同
▲廣澤一夫氏（會社員）大都ホテル
▲永井功氏（日滿商事）同
▲坂本登氏（商業）同
▲猪原孝藏氏（證券業）同
▲川村三郎氏（教員）同
▲黑木高志氏（同）同
▲中村直三郎氏（東滿產業社長）同
▲齋藤固氏（同常務取締役）同
▲永淵良次氏（東邊道開發會社）滿蒙ホテル
▲高木佐吉氏（會社員）同
▲金子生一氏（日本水產會社重役）同

出發

▲中島海三氏 五日哈市へ
▲公文秀雄氏 同
▲海東要造氏 同
▲三浦晴氏 大連へ
▲林祥一氏 奉天へ
▲櫻井肇氏 湯崗子へ
▲浦野善之助氏 奉天へ
▲神竹一郎氏 撫順へ
▲兒玉正雄氏 奉天へ
▲後藤憲一氏 牡丹江へ
▲南治之助氏 沙河口へ

その日く

□全聯會期三日を延長、これはまさしく實質的勤勞奉仕とも言ふべきもの

□この時局下であれば、國民もまた弛まぬ關心をもつてこれを見よう

□物價を繞つての問題は多樣多彩、理想と現實を物資需給で調節するのは大仕事

□石炭節約の趣旨はよく判るそして配給があつて始めて節約も出來るといふことも

□低溫生活が健康にいゝさうである、但し國民の熱情は燃え上らなければ……

全聯傍聽席から

布哇ホノルル、市パンパシフイツクユニオン社も傍聽席で熱心に聽く

米は不足してゐるが 市民に不安與へず

現物相當量在り！ 市公署デマ粉碎

「米はあと數日で品切れである」と國都の米不足を傳へられ市民はそれつとばかりに押しかけ米屋を面喰はせたが、果して國都は傳へられるが如く深刻な米不足を來たらしてゐるであらうか？大體米不足は國都のみの問題ではなく全滿的のもので目下開催中の全聯に於てもこれが對策に深刻な論戰が展開された實情であるが、市當局ではこの米不足を見越し市民に不安な思ひをさせたり、迷惑をかけるやうなことがあつてはならないとの親心から、既に對策を講じ調査の上相當量の現物を保有してゐるので傳へられる品切れと言ふ事實はないのである、ただ新米の出廻りも例年に比し遲れはするがこれについても產業部、糧穀會社をタイアップ對策を講じてをり、斷じて不安な思ひをさせないと活動中で市民は當局に信賴するやうにと、尚米不足は全面的のものであるので市民は實情を充分認識し米不足の宣傳に乘り『買溜め』をする事のないやうにと市當局の要望である

街の日記

△▽九日は寒露△▽

來る九日午後一時五十七分が年二十四節のうちの十九番目の節「寒露」に當る、この日新京の日の出時刻午前六時四十四分日の入り午後六時八分となり前の節秋分の日に比べると日の出十八分遲く、日の入り二十七分早く、晝の時間が四十五分短かくなる

推名龍德氏講演

〃生くる悲哀〃の著者であり兒童教育並に社會事業家たる東京大正小學校長推名龍德氏を迎へ滿鐵では全滿各地で一般のため講演會を催す事になつた、新京では十日午後七時から西廣場滿鐵倶樂部で『民族發展と母の使命』の題にて一般婦人のため講演會を開き同時に母と子、我等の日本等の映畫も上映する豫定である

街の探偵表彰

日本橋通百貨店金泰洋行店員夏兆財君（一九）は性質溫厚な模範店員として店主、同僚からも可愛いがられてゐるがことに防犯觀念に厚く九月中に於て同店に於ける萬引現行犯六名を逮捕する功績を上げてゐるので首都警察廳司法科では刑事警察功勞者として近く表彰することゝなり目下手續き中である

あす（七日）

▲本社後援三浦環獨唱會 於西廣場倶樂部午後七時卅分

▲滿拓講演會 於國防會館午後二時

天井なし滿洲物價

事變前の五割六分高

國都新京が日に月に素晴らしい勢をもつて發展して行く反面國都の諸物價は政府の對策を尻目に昂騰に昂騰、本年九月の諸物價平均を事變前のそれに比較すると約五割六分高となつてをり、今後この勢で諸物價が昂つて行つたら一家の經濟を切盛りする奧樣方の笑顏も滅多に見られなくなるかも知れない、試みに九月中の主なる飲食品費を前月に比較してみると

白米一割三分高、魚介類三分高、蔬菜類五割一分高、乾菜類七割一分高、鷄卵類一割三分高、調味品四分高、酒類四分高、菓子類一割四分高

となつてゐる、政府においても物價高の民心に及ぼす影響を重要視して日本よりの輸入日用品を物動計畫の中に入れ滿洲國における一定必要量を確保し、併せて日本においてまだ物價統制の埒外にある滿洲國向け輸出品にも物價統制を實施するやう工作中であるから物價の安定も近く實現されることゝならうし奧樣方もこゝ暫くの辛棒と云ふところである

こ奴は窃盜で八ケ月の懲役をうけて去月十五日出獄した大連市南山金江町生れ范慶和（二五）及び窃盜六ケ月の懲役で去る五月五日出獄した錦州生れ王福廣（二五）といひ兩名は共謀で去月二十三日夜大和通警察官舍向井文雄氏並に去る三日夜豐樂路十號進和商會治安部勤務山下某氏宅に侵入衣類數點を窃取したことが判つた、尚餘罪多數あると見られ嚴重追及中である

オーバー泥棒

五日午後九時ごろ首都警察廳司法科遊動班張世振警長が市内東二道河業園子街一五號旅社天泰棧を臨檢したところ風呂敷包に時價二百圓のオーバーを所持する擧動不審な二名連れの男を發見取調の結果、

義勇隊の大業 軌道に乘つた

開拓の先驅者 加藤完治氏來京談

わが手盤にかけた幾萬の少年達が義勇軍となつて今滿蒙全野に雄々しく開拓の鍬を揮つてゐる姿がみたいと滿蒙開拓青少年義勇軍生みの親とも云ふべき内原訓練所長加藤完治氏はこの程來滿、現地の各訓練所を視察中であつたが五日あじあで哈爾濱より着京、滯京中の開拓農法の權威者たる橋本傳衞門博士と共に中銀倶樂部における滿拓主催の晩餐會に出席、事變直後故東宮大佐と協力獻身滿蒙開拓の先驅者として乘り出した想出を回想しつゝ左の如く語つた

現地の訓練所を見るまでは少年のことがあれこれ氣にかゝつたが行つてみて一同元氣で益々健康に見違へる樣に立派になつて活躍してゐるのを見て安心すると同時にその神々しい姿には強く胸を打たれた、訓練所の設備も兵舍も年々よくなり訓練方針も整備されて少年達の心身は健かに成長しつゝある、しかも一人一人の少年達はわれこそ五族協和の中核となり開拓者の使命を果し、八紘一宇の大御心を顯現するものなりとの信念を確守してゐる樣は自分が想像してゐた以上しつかりしたもので、青少年義勇隊の大事業も漸く軌道に乘つたといふ氣がする、兎角批評をしたがるものは長く云はないもので、あれこれとこの大事業についても惡評を放つものもゐるが滿蒙開拓は日本の國策だといふことを考へたならそんなことは云へた義理でなく、もつと國民一致してこの事業の完遂に協力して欲しいと思つてゐる

・陳新京郵政管理局長・

錦州郵政管理局長から新京郵政管理局長に榮轉の陳叔達氏は六日着任挨拶に來社した

〃持つて來い〃と 泥棒贓品を歡迎

不良質屋に營業停止

四道街署では去る八月二十三日窃盜魔朝鮮生れ住所不定金祥彬（二二）を檢擧し嚴重取調べをなした結果圖らずも市内三笠町三丁目十五益豐質店鍋島タネ方の贓物故買が發覺し管理人山田榮藏（二八）を同署に留置事實を追及したが頑強に否認するので家宅捜査をしたところ、金が九十五圓で賣つたと云ふ背廣三ッ揃三着、アコーデオン他樂器四點ならびに金鎖一個百二十八圓を發見證據品として收去山田を改めて追及したのにはじめて惡かつたと自白した

即ち金は賣却當初鍋島に對し萬一警察に逮捕された際にはどんな取調べを受けるも決して貴方に賣つたなどとは云はないからと云ひ鍋島は何も云はねばと贓物收買の契約をなし暗にどしどし持つて來るやうほのめかしたことが明かとなつたのでこの程一件書類とゝもに送局された

店主鍋島タネは當局營業取消處分の意向を察知してか六日中央通署保安係に六日限り質屋業の廢業を屆け出た、當局では市中の質業店の物品受入が從來兎角ルーズに流れ、入質者の身許など全然眼中になく儲さへあればとの慾ばり營業に今後監視の眼を注ぎ民衆防犯の見地からもかゝることのないやう注意を促すことになつたが、若し收買事實が摘發された場合には斷乎營業取消から處分をなす強硬態度を持してゐる

今度はわし等に 卅萬圓貯金報國

城内花街樓主連申合せ

城内花街新京料理店組合が奏でる銃後報國行進譜三曲

△その一＝新京料理店組合では所轄四道街警察署長がかねて提唱管下に實施を促して來た國策線に沿ふ貯金報國に呼應し同組合從業者藝酌婦三百餘名は打つて一丸となり〃無駄を廢して貯金を〃と年内一萬圓を目標に貯金を實施して來たが、早くも豫定の一萬圓を突破するの好成績を收め、これに氣をよくして姐さん連は頗る張り切つて一萬五千圓の目標に貯金報國に拍車を加へ力強い步みを續けてゐる

△その二＝同組合二十六軒樓主は從業者藝酌婦の貯金報國に刺戟されて〃今度はわし等が〃と二ケ年三十萬圓を目標に貯金を實施することゝなり近く組合臨時總會を開催の上組合の決議として實行に移る筈で目下具體案考究中である

△その三＝同組合では本年春銃器獻納を計畫し銃後花街の赤誠のかたまりとして去る七月高射機關銃三門を關東軍に獻納したが、晴れの命名式を來る十一月三日明治の佳節に華々しく擧行する豫定で目下手續中である

滿洲印刷失火

五日午後九時十五分頃日本橋通七四滿洲印刷株式會社印刷工場から發火、祝町消防分駐所の出動によつて同三十分工場約三坪を燒いて鎭火した、原因は職工の投げ捨てた煙草の吸殼とみられてゐるが、損害は輕微

日本事變公債 滿洲へも登場

二十三日から賣出す

日本政府は公債の普及化をはかる見地から引續き少額公債の郵便局賣出しを行つてゐるが在滿日本人中に右公債賣入希望が多いので今回發行のよ號公債並びに第三回割引國庫債券を中銀、正金の各支店で賣出すことゝなつた、その要領左の如し

△支那事變國庫債券名稱及記號支那事變國庫債券（よ號）▲發行日十月二十三日▲償還期限十七年三ケ月▲發行價格額面百圓に付九十八圓▲額面金額種類二十五圓、五十圓、百圓、五百圓、千圓、五千圓、一萬圓及十萬圓の八種、但し郵便局賣出證券は二十五圓乃至千圓の五種▲利率年三分五厘▲賣出期間自十月二十三日至十一月二日▲賣出價格二十五圓券二十四圓五十錢、五十圓券四十九圓、百圓券九十八圓、五百圓券四百九十圓千圓券九百八十圓▲利廻步合單利三分六厘八毛

△支那事變割引國庫債券名稱及記號支那事變割引國庫債券（第三回）▲發行日賣出期間支那事變國庫債券（よ號）と同じ▲償還期日昭和二十四年十二月十日（十年一ケ月）▲利廻步合複利三分五厘五毛（無稅）▲額面金額種類十圓、二十圓の二種▲發行價格及賣出價格額面十圓に付七圓

七福にお目玉禍

六日午前中央通署保安係に五馬路料理店七福の店主及び抱へ酌婦ちやら助の二人が呼び出され、時局柄も辨へぬあの振舞は何事だと油を絞られてゐた、即ち四日午後五時頃同店に登樓した四人連れの客が是が非でも三味線を持つてちやら助に出掛けろと喧嘩腰の出花に恐れをなしてか無斷で外出、同七時頃東一條通二四奴壽司二階に上り五人で三味入りの飲めや唄へやのどんちやん騷ぎをしてゐるのをその筋に見付けられたもので、同夜新京檢番では營業中無斷外出し然も管轄違ひの飲食店で騷ぐとは上がられた店こそいゝ迷惑と新京料理店組合に嚴重なる抗議を申込んだところから七福店主及びちやら助の兩人あちこちからの大叱言に靑くなり恐縮して引下つた

兵隊さんのために 唄ふお蝶夫人

＝三浦環公演會 愈よ明夕開演 〔本社後援〕

本社後援三浦環女史のオペラと獨唱會は七日午後七時三十分から新京西廣場滿鐵倶樂部で開催される、三浦女史一行は歡迎の嵐に迎へられて七日午前十一時四十二分着列車で來京、ヤマトホテルにて少憩ののち關東軍其他關係方面を訪問挨拶のゝち午後七時半より西廣場倶樂部のステーヂに立ち待望のお蝶夫人にファンを歡ばす筈であるが同夜は在滿皇軍將兵のため特にステーヂからマイクを通じて全滿に放送することになつた、三浦女史は新京公演につき本社に書信を寄せて次の如く述べてゐる

思ひ出深い滿洲で懸案の日本語お蝶夫人を皆さまに聽いて頂けることはどんなに嬉しいか知れません、ステーヂで倒れるまで一生懸命にやる積りです、滿洲に居られる兵隊さんには一方ならぬお世話になつた私です、この機會に出來得る限り各地の病院其他を御慰問したいのですが都合でそれが出來なくなりましたのでせめてラヂオでもとステーヂから中繼放送をすることになりました

なほプログラムは次の如くである

△第一部＝一、ソプラノ（獨唱三浦環）A歌劇「ミニヨン」中よりポロネーズ、Bスペインの小夜曲、C麥打ちの歌、D窓、Eマカロニ

△第二部＝二、バリトン獨唱（大橋勝雄）歌劇「セヴイラの理髮師」中よりフイガロの歌、三、ソプラノ獨唱（三浦孃）人形の歌、四、ソプラノテノール二重唱（三浦環、小島共男）歌劇「椿姬」中より乾杯の歌

△第三部＝邦譯歌劇お蝶夫人 配役お蝶夫人三浦環、米國領事シャープレス大橋勝雄、米國海軍中尉ピンカートン小島英男、小間使お鈴村山雪子、ピンカートン夫人ケート神保悅子

△第一幕夜は靜か

△第二幕三年後のお蝶夫人の家

△第三幕その翌日お蝶夫人の自双【寫眞は歌劇お蝶夫人の第三幕舞面】

滿鐵先驅者慰靈

十日新京支社で執行

大陸開拓の先驅者として輝やく歷史を有する滿鐵は興亞聖業の一翼として雄々しく第二の創業に邁進をつづけてゐるが過去三十餘年間に尊き開拓の犧牲となつた社員の數は八千に垂んとしてゐる、會社ではこれら先人の英靈を祀るため十日午前十時三十分より全滿鐵機關一齊に大慰靈祭を執行することになつた、この日新京では午前十時三十分支社前庭に在京全社員整列して默禱を捧げ總裁、社員會幹事長の弔辭がある、なほ當日大連の慰靈祭には神守支社次長が在京社員を代表しして參列する筈である

火達磨洋車夫 遂に死亡

去る九月二十七日午後七時頃兒玉公園前ロータリーで洋車上に積んだガソリンに引火それを全身に浴び火達磨となり瀕死の重傷を負つた鐵北三不管居住洋車夫河北生れ孟傳海（五二）は滿鐵醫院にて治療してゐたが、六日午前五時十五分遂に死亡した

各署警長表彰

首都警察廳司法科では六日午前九時から科員集合の上司法科長から同廳留置場に勤務成績優秀なる警長の表彰式を擧行した、被表彰者は張貴洲、王秀芳、郭鴻儒、周德勝の四警長であるが、ことに張警長の如きは康德三年五月以來、三年五ケ月をこの留置に勤めその間一日の欠勤もなく職務に勉勵したものであつた

庭球納會

新京特別市體育聯盟では庭球シーズン終末となつたので七日午後四時から白山公園コートで本年度歡式庭球納會紅白試合を行ひ終つて中央飯店で日本遠征役員選手慰勞會を催すことゝなつた

葆興銀副總裁

葆康興銀副總裁は來る九日安東において開催せらるゝ全滿銀行大會に出席のため八日のひかりで安東に向ふが、齋藤奉天支配人、平田產業金融課長及び五百木秘書も同行の筈

團體往來（六日）

△延吉國民優級學校生徒六十二名 午前八時着延吉より

△長崎市立商業學校生徒七十五名 同午前九時發哈爾濱へ

△鮮人開拓民幹部訓練所生五十五名 同午前十時五分發江密峰へ

今晩の主なる放送

▲七、三〇講演「第六回協和會全國聯合協議會に出席して」（新京）▲七、四〇講演（上海）▲八、一〇吹奏樂海軍々樂隊「帝都の護り」横須賀海軍航空隊（外）（東京）▲九、三〇ラヂオ風景ふるさと通信一東關西新派道中（大阪）

仙人掌

曙の菊太郎姐ちやん
うま〳〵かつがれた

協和服てやつは誰が着てもおかしくないし、ワイシャツだカラーだ、ネクタイだと煩はしい附屬品が要らない簡便さに誰でも拵らへた、それは安く出來たにもよるが、此頃ぢやさう安く出來ないことも御承知の通りである、嘗てあまり協和服が氾濫するので、どうも怪しからんことだ、斯う猫も杓子も協和服を着ちや會員非會員の區別がつかないと憤慨した人があつたので、さう狹い量見ぢや駄目だ、協和會員に非ざれば匪賊なり匪賊に非らざる限り三千萬民衆これ悉く協和會員だと思つたらいゝぢやないか、協和服を着る、着ぬが問題ぢやあるまい、服を着てゐる中味が協和精神の體得者であり、實踐者であればいゝぢやないか、要するに風袋より正味だよと笑つたことがあつたが、だが協和服を着てゐるがために惹き起される珍事件も尠くない協和服を着て行つたばかりに料理屋で玄關拂ひを喰つた重役があるかと思へば醉眼朦朧協和服を初めて着て來てゐた上役を見誤り喧嘩をふつかけ勢よく飛びかゝらうとして氣がつきカフエーの卓子の下に潛り込んだきり出られなかつたといふ男の話を聞いたがこないだの晩、曙でまだあまり新京のお座敷の數を重ねてゐないとみえる菊太郎といふ妓、○○のヒーさんの前にすわつてあの偉大なる體軀を協和服に包んでどつしりすわつてるのをつく〴〵眺め、あたしもふとつてるけどおにいさんもずゐぶんいゝ體格だわねと惚々と正面から眺めたり横から眺めたり、それから今度は、おにいさんもやつぱり新聞社の方ですの、ウムさうだよ、と、いふ問答になつたこりやおもしろくなつて來たなと耳目を働らかしてゐると
どちらの新聞社?ねへお名刺を下さいなと菊太郎姐ちやん頻りにせがんでゐる、ヒーさんこゝで化の皮が剝がれるかとおもつてゐると、悠然としてとり出した名刺入れやゝ暫らく取捨撰擇を重ねた上に與へた名刺は、○○新聞京城支社長某とあるのだつたあら朝鮮からゐらしたの、あゝさうだ、まだ來て間がないのでねちつとも樣子がわからないんだが、こゝで君のやうな別嬪を發見したのは嬉しいね、まアよろしく頼むよ、あらアそりやこちらこそ、どうぞ御贔負にねとなか〳〵話がモテるヒーさんの隣にすわつてゐたのが滿○のヤーさん、こちら今度朝鮮滿洲一帶に指揮號令する○○新聞鮮滿總社の社長になつて京城からゐらしたんだ、精々サービスしとけよ、タメになるお方だぞと巧く話のバツを合せるので、菊太郎姐ちやん、すつかりかつがれて、ねへ社長さん握手して下さいなと、どうも手の握り方に力がこもつたやうだつた

各館評判記

◇…朝日座を除いて市内五館一齊に寫眞替り、封切館、二番館ともに賑やかに娛樂番組を並べましたが、内容あるものと云へば成瀬巳喜男の「まごゝろ」ぐらゐのものでせうが、これとて最上級のものではなさゝうだし秋冷しの感ありです

◇…先づ古參の長春座からこゝは映畫の方は東寶岸井明花井蘭子に藤尾純其他の寶塚ショウを動員した並木鏡太郎監督作品「唄へ河風」と下加茂の藤井貢物「虹晴れ街道」の二本で、後者は二川文太郎作品とは云ひ條ものは菊五郎の舞台劇、藤井貢にこの人情噺の味は求められさうにありません、寧ろ映畫よりアトラクション「ヴエルテ・イス・オルケスタ」の新型式ショウに觸手が動きます

◇…帝キネは先きの「まごころ」と佛蘭西物マルセル・シヤンタルとアリ・ボールの顔合せ「地中海」で波高き地中海を根城に出沒する武器密輸團を衝く勇敢なる潜航艇の活躍に艦長と若き士官の戀を絡ませたメロドラマ、時局柄番組魅力としてはこれが一番です

◇…次は銀キネ、新興お得意の怪談物「狂戀の女師匠」がトリで、鈴木澄子の妖艶な主演に南條新太郎、松浦妙子が共演、戀に狂つた女清元師匠の愛憎を描いた木藤茂監督作品、添物は新田實、眞山くみ子の「若妻」でこれは伊奈精一の監督作品、二本並べて先づ悪くはない番組です

◇…再映陣は豐劇に田中絹代、上原謙の「續愛染かつら」が東寶「裸の教科書」と並べませう、添物は東寶の「船出は樂し」で德山璉、岸井明といつた顔ぶれ、長春座のの封切「唄ふ河風」にぶつゝけたとすればちと意地の悪い組合せと云へませう

「リボンを結ぶ夫人」札幌行

森田たま女史原作、入江たか子、大日方傳主演の「リボンを結ぶ夫人」は、北海道札幌に撮影本隊を置いて、北海道特別の地方色を野心的に盛り込まうとする東寶秋の異色大作陣の中でも新浪漫主義映畫ともいふべき異彩篇で相當長期に亘るロケになる模樣であるが、此程演出の山本薩夫から次のやうな第一報が屆いた

『みんなもの凄く元氣で仕事を始めました。今日は牧場の場面です。ゆるやかなカーヴを描く丘につゞいて白樺の森の茂みが見え、初秋の札幌の空はまつたく美しい碧さです。そして、これほどロマンテイックな雲の流れも知りました。ほし草に寝て、仕事のことを考へてゐると、悲しいくらいほし草の匂ひにむせてしまひ、私は幸福バーバリズムに憧れてしまひます。高貴な而も謙虚な風景の中で私の若い野心はかりたてられるばかりです』

動亂の歐洲から歸へる……

第二次世界大戰の危機まさに到らんとする動亂の歐洲各音樂都市に留學中の我が音樂家舞踊家達は極少數の人々が踏み止まる丈で、大部分は脫出して既に乘船歸朝の途にあるが、その顔觸れはフランスからは舞踊の崔承喜、テナーの松山芳野里、獨逸からはピアノの宮内鎭代子、アルトの平原壽惠子、舞踊の邦正美の諸君があり、いづれも年内に懷しの母國の土を踏む

極東キネマ大陸へプリント移出

名古屋市小林キネマ商會は名古屋市内のみにても現在十數の映畫常設館を直營し、傍ら極東キネマ中部支社を併設、映畫配給盛業中であるが、かねて滿鮮大陸方面並に台灣地方へ映畫文化の進出に協力する意味に於て、今回第一回の大陸プリント移出として同商會在庫の東亞・東活・エトナ映畫中プリント程度最優秀の時代劇、現代劇無聲版約八百本（五千卷）を大陸方面の業者に分讓又は配給委託を行ひ大陸への大衆娛樂策に寄與することゝなつた

艶音

豐劇の次週は十月第一回洋畫番組、と云つてもお古であるが「F・P一號應答なし」が出る▼次いで中旬は東寶「樋口一葉」と「思ひつき夫人」にアトラクション「大市乙女ダンス」の賑やかな舞台▼次ぎが「男の償大會」でこの三週全部申分のない豐プロ▼廿一日からは「唄へ河風」の寶塚ショウが來演する、メムバーは森野鍛冶哉、藤尾純、有馬是馬、柏正子、櫻丘千紗子、武智豐子、月島春子其他五十餘名、これはちよいと心待たれるものであらう▼來演相次ぐアトラクションに實演、この秋は相當粒が揃つてゐるところがお樂しみである

土曜　丁丑　友引　定　柳宿
舊八月廿五日　十月七日
東京・本郷・神誠館

●一白の人　考へ過ぎて理に陷り實情に遠ざかり行く日　南と北と乙が吉
●二黑の人　器用に任せ余分な小策をすれば失敗すべし　東と南と辛が吉
●三碧の人　今日終りを告げさる事は企つべからざる日　丙と丁と乙が吉
●四綠の人　目上に謀り長上に聞きて獨斷を戒むべき日　巽と乾と壬が吉
●五黃の人　遣り操り工風事は損する恐れあり自重せよ　東と南と辛が吉
●六白の人　穩健に進めば大吉浮薄の事には大凶なる日　巽と辛と壬が吉
●七赤の人　企つる事小なるも追々大なるものと成べし　巽と壬と辛が吉
●八白の人　勞多く功少きも後日の爲めと勵むべきこと　東と南と北が吉
●九紫の人　苦を去り何となく氣の晴れ晴れと働ける日　乾と乙と丁が吉

近藤勇

（舞臺上演 映畫上映）　橋爪彦七　西正世志畫

（三十二）

京の夜　（三）

だが、棚村主馬は、あくまでも無言だ。

萬一――その氣合に引つかゝつて、吸ひ寄せられて斬り込むか、

『おゝ』

とでも受けたが最後、どう變化を見せるか底の知れない平山の劍だ。

無論、棚村の風のやうに柔らかな呼吸が、却つて、平山を苛立たせた。

『棚村ッ』

不意に、横から一人が聲を飛ばした。

（まづい！）

平山が感じた。

『出てはならん！』

云つた殺那、棚村の體が動いてゐた。

『ほッ！』

飛び退いて棚村の劍を避けたとき、一人が、

『糞ッ！』

聲をかけて斬り込まうとした、

『危ないッ』

同時に、平山が叫んだのだつたが、血を逆上らせてゐる隊士には聞えなかつた、隊士が、

『えゝいッ！』

と、叫んだのと、次の瞬間

『うッ』

と、呼吸をつまらせたやうな、叫びとも何ともつかぬ聲を出してよろめいてゐるのとが同時であつた。

棚村が、

『次ッ』

と、云つて、八相に構へ、續く劍に備へたのを見て、平山が、

『退け！』

叫んだが、

『馬鹿なッ』

未熟なのが、棚村の劍氣をはかりきれずに、

『仇だーーッ』

面を振つて斬り込んでゐた棚村が、た、たーーと退いて、

『捨身！』

（やられるーー）

平山が、思つたのより、

『うむ……』

と、隊士が、海老のやうに身を縮めて倒れる方が、速いくらゐだつた。

（この上は――）

平山が、死を賭して、進まふとした刹那に、殘る二人が進んでゐた。

『くッ！』

とか、

『かーーッ』

とか、叫んだやうだつたが二三合で、棚村の左右に斬り捨てられてゐた。

『鮮か』

と、叫んで、平山が刀を引いたのはこの時だつた。

『棚村氏、死體の手當をするから手傳つて貰へぬか』

意外な注文だつた。

棚村は、平山の心がわからなかつた。

（欺くのかーー）

とも考へたが、すぐに、

『よろしい』

と、答へた。

聲にいさゝかも亂れがなかつたし、毛ほども平山を疑はぬ語調だつた。

狡智の平山が、

（助かつたーー）

と、思つたのは、その時で、彼は、すぐ、傷負ひの始末にかゝつた。

いづれも一刀で、美事に仆されてゐるのだ。

『お見それ申した』

これを聞いたとき、棚村は總身に火のやうな憤りを覺えた。

『卑怯者！』

大喝すると、拳をあげて、平山の頰を打つた。

『何するッ』

だが平山は、聲で云つただけで後も見ずに去つてゆく棚村を追はうともしなかつた。

商況　六日前場

海外經濟電報

▲倫敦金塊　八磅八志――

▲紐育金塊　三五弗〇〇〇〇
▲倫敦銀塊　二一片四分一
▲同先物　二一片〇〇〇
▲紐育銀塊　三五仙〇〇〇
▲需買銀塊　五五留比二六分三

▲市俄古小麥

限月	値
十二月限	八一仙八分七
五月限	八二仙〇〇〇
七月限	八〇仙八分三

▲紐育棉花

限月	値
現物	九仙一七
十月限	〃〃一一
十二月限	八仙八一
一月限	八仙六四
三月限	〃〃五四
五月限	八仙三四
七月限	〃〃一三

▲印棉

銘柄	値
ブローチ	一八六留比四分三
オームラ	一七三留比四分三
ベンゴール	一四〇留比〇〇〇

▲カルカツタ麻袋

銘柄	値
鐵筋	三五留比四分三
青筋	四一留比〇〇〇

▲紐育株式

銘柄	値
スチール株	七四弗八分七
アナゴンダ株	三三弗八分三

▲外國爲替

種別	値
米英爲替	四弗〇四仙八分一
米日爲替	二三弗六五仙
米支爲替	七弗八〇仙
米佛爲替	二仙二八四分三
英米爲替	四弗〇二仙〇
英日爲替	一志二片三二分一
英支爲替	四片八分七
英佛爲替	一七六法〇〇
印日爲替	七九留比〇〇

▲東京爲替

種別	値
對米賣	二三弗一六分七
對米買	二三弗八分五
對英賣	一志二片〇〇
對英買	一志二片三分一〇

各地株式市況

▲東京株式（短期）　寄付　大引
新東、大新、鐘紡、同新、帝新、洋新、日石、同新、郵船、日鑛、日産、日立、満業、電工、東電、日鐵、満新、糖曹、日新　[illegible]

▲大阪株式（短期）
新東、大新、鐘紡、同新、満業、日蕃、帝新、武船　[illegible]

▲大連株式（短期）
五品、大新　[illegible]

各地商品市況

新東、鐘紡、同新、錢鈔、土木、豆新　[illegible]

▲大阪綿布
十月限、十一月限、十二月限　[illegible]

▲東京人絹
一月限、二月限、三月限、四月限　[illegible]

▲大阪棉花
當限　―
十月限　六二三〇
十一月限　―
十二月限　―
一月限　―
二月限　六一〇〇
三月限　六一八五
四月限　六二二〇

▲大阪期米
當限 ―　中限 ―　先限 ―

▲大阪人絹
當限 ―　五月限 ―　六月限 ―　七月限 ―

▲橫濱生糸
十月限　一六〇〇
十一月限　一五八四
十二月限　一五六七
一月限　一五五七
二月限　一五五二
三月限　一五四五
現物　一六三〇

各地特産市況

▲新京　大豆　寄引出來高
先物、九月限、十月限、十一月限、十二月限、一月限、高粱

▲大連　大豆
袋入、十月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限、豆粕、現物、十月限、十一月限、十二月限、一月限、二月限、豆油　[illegible]

朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙一部五錢 定價一ケ月壹圓 郵稅一ケ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二〇二 營業局專用(3)三二〇五
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 水越內之介

國民動員問題で 議場も新たに緊張
全聯本會議第七日目

全聯議事は第七日に入つて劈頭「東亞新秩序建設促進に關する件」の緊急動議を上程全員萬雷の拍手裡にてこれを可決、直ちに文案起草委員會にこれを附託した後于治安部大臣の施政方針說明あり、引續き議案第三部「國民動員の完成に關する事項」の協議に入つた、物價問題、住宅問題、金融問題等國民生活の向上に關する事項の協議より一轉國民動員問題の協議に入つた、議場には政府側于治安部大臣はじめ蒲田次長松井最高顧問、植田警務司長等關係當局者全員出席、傍聽席には日系、白露人系警察官多數、全聯開始以來はじめてのものものしい光景を呈した、先づ議案第二號「警察官の給與改善教養訓練に關する件」の協議にはじまり、熱河、黒河、奉天の各省代表起つて警察官に對する民衆の要望を交々陳辯し、その素質改善の喫緊なる理由を說いたが、國民動員問題協議の初頭早くも「議長、議長」を連呼する發言要求交錯し議場は頓に緊張を呈した

警察官の向上計れ 王道に立脚せよと要望

治安部大臣の施政方針演說を終つて議案協議に入り、第二號議案たる「警察官の給與改善並に教養訓練に關する件」を上程、熱河省代表藤田正維氏より警察官の素質に關して端的なる意見を開陳、警民懇談會も單に形式に留まり何等民衆に福音を齎すところがない點を指摘

警察官の待遇改善は建國精神の徹底的な體得と併行して行はれ度い

と述べ、次いで黒河省代表龜山誠一氏より

現在の警察制度が果して王道警察と自負し得るや

と一矢を酬ひたるのち警察官の給與改善と教養訓練の必要を力說する、その他二、三代表から同樣意見の開陳あり優秀なる警察官の養成につき當局の具體的的確な回答を要求する、これに對し植田治安部警務司長立つて

現在大約十萬の警察官があり、そのうち下級警察官は八萬を占めてゐる、待遇については建國當初は五圓乃至八圓であつたが、康德四年には警士十圓警長十五圓に引上げられ、その後漸次待遇を改善し、近く發表さるべきものは大體警士廿二圓、警長廿六圓と引上げを示すことになつてゐる、その他國境勤務員に對する特別勤務手當も增給せられ官舍の貸與等も二千三百戶に及んでゐる狀態で、これ等當局の努力は充分諒解されるものと思ふ、警察官といつた從來の表面的な考へ方ではなく實に民衆の、協和の、陛下の警察官として建國精神の橫溢した警察官の養成こそ望ましく、當局としてもこの點に努力し獨創的大協和社會の實現に邁進しつゝあるわけである

と熱を帶びた語氣を以て說明の概略を終り、次いで各省代表の質問に對する答辯として

警民懇談會は協和治政を反映するものとして大きな意義を有し私自身も王道警察のヒツトとして各方面から激勵を受けてゐる、それにも拘らず只今その理想と全然反對の傾向に走つてゐるとの御意見を聞くことは全く遺憾に堪へず、私としては毛頭左樣に考へることは出來ない

とて顏面を紅潮させて滿場を唸らす、奧村副議長より

本件は協和運動の將來に關して極めて重大な意味を持つが故に分科委員會に附託したい

と諮れば、「議長」「議長」と各所より發言を求める聲しきり、奉天省代表三宅欣吾氏より衆議統裁について疑義あり本件を解決とされたいと述べるを副議長之を抑へ

本件については各代表自身についても考へねばならぬ點もあり直ちに解決とするは早計である、分科委員會に附託協議することこそ眞の協和の意議を徹底する所以と思はれる

と論じ、更に奉天省代表より委員會に提案省代表特に滿係を入れられいと述べその他に發言を求める者多く議場騷然となつたが橋本中央本部長より注意あり、結局委員會附託と決定、次いで文案起草委員長より東亞新秩序建設に關する決議文の朗讀あり滿場の拍手裡にこれを決定、午後二時散會した

新秩序促進決議文

東亞新秩序建設促進に關する決議文は、協和會全聯の名の下に、日本帝國中華民國臨時政府、維新政府、蒙古聯合自治政府に對しそれぞれ通電を發した

聖戰茲に三ケ年、支那における和平統一の機運日を追うて益々濃厚なるものあり支那事變解決の要諦は日滿支三國の親善提携を根幹とする東亞新秩序の建設に在り而して新支那中央政權の誕生は日支關係並に滿支關係を根本的に調整し、以て日滿支三國間の相互連環關係を具現すべき第一步なり、我が建國の精神は東亞新秩序建設の理念に發するものにして民族協和の實を擧げつゝ道義世界の創建に務めたるは之即ち我が滿洲帝國の東亞新秩序建設の樞軸的據點なりと稱せらるゝ所以なり、歐洲の破局今や益々擴大せんとする秋、日滿支三國相倚り相携へて新東亞の建設に邁進せんとするは東方道義の發揚に外ならず、我等四千萬國民は建國精神を益々明徵顯揚し外は日滿不可分關係を鞏化すると共に支那新政權の成立發展を促進し、內は更に協和奉公の誠を盡し國內諸建設の遂行に參加協力し以て東亞新秩序建設の鴻業を扶翼すべし、右決議す

友軍に糧秣投下の我荒鷲

修水盆地を急進擊 東方に敗走の敵を猛追

【修水方面前線にて六日發國通】五日拂曉江南戰線の敵が唯一の防禦線と恃む修水縣城に突入した佐藤、大西飯田の各部隊は城內外の敵敗殘兵を剿滅、最後の抵抗を排して水清き修水河畔の樓上高く日章旗を飜し強行軍旬餘の勞を醫した、明けて六日意氣益々昂る攻擊部隊は引續き修水河に沿つて進擊を開始、同午前十一時修水東方の〇〇に肉薄一擧に殘敵を潰滅すべく果敢なる猛追を續行中である

【〇〇六日發國通】九嶺山系を死守する王陵基軍七ケ師に潰滅的打擊を與へ五日薄暮同山系の主峰〇〇山を確保し標高千四百メートル雲表の山頂に感激の大日章旗を打立てた長崎族生各部隊は六日朝來敗敵を追つて修水盆地に進出し武寧長沙公路の要點〇〇に向つて急進中であるが、主峰〇〇山の戰鬪に於ては敵十五師の主力約二千を擊滅、敵遺棄死體二百、捕虜八十名、鹵獲兵器チエコ機銃八、小銃百八十の輝く戰果を擧げた

山田中支指揮官 晴の歸還

【門司國通】昨年十二月畑大將の後をうけて中支方面軍最高指揮官となり江南戰線に赫々の武勳を樹ててまた新中央政權樹立の素因をつくり、興亞大陸建設に一大礎石を投じた山田乙三中將は六日正午門司寄港の船で吉本貞一少將以下の幕僚を隨へ故國に晴れの歸還をなし、船中上甲板で出迎への松井西部防衛司令官等多數軍官民の挨拶を受けて舷側に立出で歡迎の各種團體に「有難う」と力強い感謝の言葉を述べて神戶に向つた

戒煙に邁進 阿片麻藥斷禁懇談會

全聯阿片麻藥斷禁政策強化に關する懇談會は六日午前十時半より第二會議室において開催、政府側張保健司長、林煙政、川上防疫兩科長、高松官房文書科長、その他專賣總局企畫處各關係官本部代表等十三名出席先づ劉代表(濱江)より登錄制度の不徹底缺陷、管煙事業實施上の缺陷等提案理由の說明あり、續いて中村代表(興安東省)

地方においては往々にして轉賣による價格騰貴を生じるがこの點嚴重に取締られたい

これに對し張保健司長

政府はこの惡弊を十ケ年計畫で除く方針でいろいろな方法で宣傳してゐるが、斷禁は國民の自覺に俟つところ多大であると思ふ

と說明、林煙政科長

斷禁法實施の結果吸飲者は相對的には減少してゐる、昨年末全國で六十四、五萬であつたものが、現在では五萬十九となつてゐる

さらに御手洗專務官より

從來同一官署において阿片販賣、斷禁の兩方面を行ふといふ矛盾があつて積極的斷禁が行はれなかつたが、今後は收入の點を問題とせず斷乎斷禁させる必要があると思ふ、登錄制度については再調查を行ひ登錄證には本人の寫眞を貼付するなど登錄方法を是正する

との具體的な說明があり、さらに任代表(熱河)より生產の制限等の質問があつたが結局協和會、政府との間に密接なる聯絡をとり斷禁に向つて邁進すると共に民衆も協力して所期の目的を達成することゝなり午後零時五十分散會した

波蘭戰線に終止符 獨軍晴のワルソー入城

【ワルソー五日發國通】波蘭戰線に終止符を打つ獨軍のワルソー入城式は五日午前ヒトラー總統々監の下に盛大に擧行された、この日午前九時、總統はカイテル國防軍幕僚長ヒトラー親衛隊長及總統官房長ランマース博士を帶同空路ワルソーに赴いたが二時間半後の同十一時半ワルソー郊外のオケンシー中央飛行場に到着、ブラウヒツチ陸軍司令官ミルヒ空軍總司令、ランドズツト東部方面軍司令官、グラスコヴィツツ、フオン・ライヒラウ兩上級大將、ケツセルリング及ベール兩空軍部隊長及びワルソー攻擊司令官コシヘン・ハウゼン中將等各部隊長はじめ軍黨國首腦多數の出迎へを受け軈て機上から降り立つたヒ總統は胸間の勳章も輝しく黨國首腦將星を從へワルソー街道沿道に堵列する獨軍將兵を順次閱兵しつゝワルソー市に歷史的第一步を印し数され、ヒ總統はワルソー目拔のウヤズトウスキー街路の中程に設けられた壇上に起つて約二時間に亘り赫々たる武勳に輝く各部隊の入城分列式を檢閱した、かくて晴れの入城式を終つた總統は故ピルズスキー元帥の居城たるウエルヴエデール宮に赴き故元帥の靈に詣でた後オケシー飛行場に歸へり再び空路ベルリン歸還の途に就いた

住宅問題本部一任 ＝第一部分科委員會＝

第一部分科委員會は六日午前十時十五分より中央本部第一會議室において開會、關係機關側より山梨經濟部商務司長稻次同商事科長、山田房產副理事長、同鈴木理事、治安部より花谷大佐、代表側寺島委員長外委員二十七名その他全聯處理委員並に幹事等四十餘名出席、「住宅問題に關する件」を上程、まづ花谷治安部顧問より本件審議の心構へについて說明するところあり、次いで寺島委員長

本件審議の立場は飽く迄軍民一體の精神にある、しかして審議の要點は
一、小住宅建設の要請
一、建築法規の改正(大住宅不急住宅の制限等)
一、建築資材の物動計畫への挿入
一、民間建築の慫慂(建築取締、金融、都邑建設の三件に分れる)
一、官廳、特殊會社における民間家屋借上及び買上價格の協調
の範圍にあると思ふ故これに對する當局の意向を伺ひたい

山梨商務司長

小住宅の制限ーは與へられた資材の範圍內で出來るだけ多く建築したい、それにはまづ建築樣式の統一が考へられる、即ち房產の規格を統一し民間も房產樣式に準じて資材を節約するといふ點において建築を許可する事とする▼建築法規の改正ー大住宅、不急住宅(カフエー、料理店、待合)の制限、不許可等については法規の改定を考慮中である▼建築資材の物動挿入は現在もされてゐないし將來も恐らくされまいと思ふ、併し房產取扱資材は挿入されてゐる▼民間建築の慫慂、建築組合の結成、房產よりの融資の積極化は大いに考慮してゐる、規格の點は房產に據らしめるが、資材、金融の手當をする能力ある處にはどしどし建築をなさしめたい、民間所有敷地で値上りを待つてゐるものは政府乃至市への強制收用をせしめるやうその法的制定を準備中である▼官廳、特殊會社の民間家屋今後の買上及び價格は許可制度とする

堅山代表(奉天) 民間への資材配給方法如何、建築樣式如何、房產の金融の諸點につき當局の說明を求む

山梨商務司長
一、民需向資材には工場用、住宅用の別はないが、必要に應じて適當に配分する
一、小住宅の樣式は最高平面三十坪である
一、房產の融資は個人であり將來もその方針である、擔保は土地と建物とする建前であり、決して房產の所有とはせぬ

引締き三、四の代表より質問あり、これに對し政府の說明あつて、結局本件は
一、政府並に關係機關の善處要望
一、協和會員の積極的斡旋
の二條件を附して本部一任となり、散會一時四十分

土地問題懇談會

土地問題紛爭に關する懇談會は六日午前十時より實踐本部長室において開催、政府側より菅原民事司長、要尾民事第一科長、松田事務官、桂地方處長、白濱興安局參與官、村井地籍整理局事業科長、中央本部より久保田、鳥海部員、各省代表十三名出席、土地問題紛爭防止に關する件(吉林省提出)につき懇談に入り、白寶泉代表(吉林省)郭爾羅斯前旗內における複雜な土地紛爭問題について詳細に說明訴訟提起以來六、七年にしてなほ解決出來得ないものさへあり速かにこれが適切なる對策を講じて戴きたいと善處方を要望、更に奉天李鐘文代表より河川流域の變更による土地滅失の場合における紛爭について質問があり

菅原民事司長

土地に關する權利は複雜であり民法制定に際しても從來の慣習を如何に整理するかゞ問題であつたか、斯る問題の解決方法としては法律によらずして行政上の問題として解決して行きたい、また土地賣買をした時地權と實際が大分喰ひ違ひがあるといふ話があつたが、地籍整理の充分でない現狀よりしては地籍のみに賴らずよく現場をみてやつていたゞき度い、なほ河流の變更による土地の滅失の問題であるが、これは民法では權利の喪失と認めてゐるが、なほその土地の慣習の效果を充分認めたい

との答辯あり、次いで白濱參事官、村井地籍整理局事業科長よりも說明があり採決の結果本部一任として午後一時散會

治水關係懇談會

三江、錦州、濱江、間島各省提案にかゝる河川改修、護岸等に關する懇談會は六日午前十時より本部長室に開會錦州、奉天、龍江、濱江、間島各省代表、政府側交通部坂田技監、永田、米田技正等出席第四部廿四、廿五、廿六、廿七、廿八、廿九、卅、卅一、卅三號及第二部九號の各議案について審議懇談が行はれて午後一時四十分散會した

圓滿解決を圖る 外相報告

【東京國通】貿易省問題に對する外務省事務官當局の反對意見に關し野村外相は六日の閣議においてこれを報告

事務當局の間にはいまだ先日の閣議決定の內容が充分了解されてゐない點があるやうに思はれる、したがつてこの點につき自分は更に充分說明して問題の圓滿解決を圖る考へである

と述べ、各閣僚異議なく外相の意を了としてこれを全幅的に支持する意圖を申合せた 一方政府としても今後設立準備委員會において閣議決定の精神に反せざる限り外務事務當局の意向を硏究考慮することゝし、問題の急速的解決を期してゐる

【東京國通】野村外相は六日午前九時卅五分外務省に登廳、吉澤アメリカ、西歐亞、三谷條約の三局長を大臣室に招致し五日谷次官より三局長に懇談したると同樣の主旨に基き政府としては一旦閣議で決定したものを變更することは絕對に不可能で、これから閣議決定の範圍內で最善の方法を採りたいと思ふが諸君もこの點を充分諒として事務當局を納得せしめるやう協力されたい旨懇請した

外務省情報部長 更迭決定

【東京國通】野村外相は外交陣刷新の建前をもつて在タイ國公使村井倉松氏を東京に召還しその後任として現情報部長河相達夫氏を轉任せしめることに決し五日谷次官よりこの旨通達せしめた、情報部長後任は駐米大使館參事官に轉任の途中目下滯京中の須磨彌吉郎氏が拔擢されることに內定、また村井氏は一旦歸京の上駐滿大使館參事官に補せられることゝなつてゐる

曾仲鳴暗殺犯人 懲役七年を判決

【香港六日發國通】ハノイからの報道によれば曾仲鳴暗殺犯人三名に對する最終判決は九月二十八日大審院において行はれ被告三名に對しそれぞれ懲役七年の判決が下された、犯人の自供するところによれば犯人は曾仲鳴夫妻に對し全然犯意なく汪精衛を暗殺目標にしたもので曾暗殺は間違によると主張してゐる

偶語

夕そのお子さんは幾歲ですか〃「三歲半です」この會話は過般京濱線列車の中で波蘭から歸朝の途にある酒匂大使夫人と出迎者との會話である▼日本で米の飯を食ひ日本語で育つて來た日本婦人が僅かの間外國へ行くとかうもケトウかぶれするのかと思ふと情けない▼それはまだしも女の癖に親父の話を聞き嚙つて政治問題を滔々とまくしたてるに於ては唾棄をかけてやりたくなる▼日本婦人の世界に冠たる所以は貞淑なる婦德にあるのだ、日本婦人からその婦德を奪へば一體どこに取柄があるのか▲我が英國はと二言目には英國を口にする拜英外交官も困つたものだが外交官夫人のケトウ崇拜も呆れたものだ▼日本外交陣の刷新はまずかうした方面から速急に肅淸してかゝることが喫緊事である

社說

大陸資源の開發

大陸資源の開發といふことがすでに決定的な目標として當面の課題に上つてゐることは周知のところである。しかしながら、その實績がどの程度に進みつゝあるかと言へばこれはなほ問題とされねばならぬであらう。また若干の部分では揚げられた理想が見失はれてゐるやうな點もあるのではないかと考へられる。われ〳〵は改めて、これを東亞諸民族の興隆のために、また世界經濟の發展に貢獻せしめんために、開發を行ひ日本がこれに協同するのは當然であり、また正義であるといふ意識を堅く把持すべきであらうと思ふ。われわれはあくまでこの正義觀に立脚してその開發を道義的な實踐に於いて實現して行かねばならぬのである。もとより支那の資源は支那の領域の中にある。故に支那の政治的性格がぜひとも世界の新しい情勢の下に於ける互助連環の秩序といふものを作つて行く自覺を有することが要望されるのである、故に支那の指導者は民主主義的な固な民族主義から目覺めて、正しい東亞の經濟建設のためにその單位として新たなる發展を遂げることを自覺せねばならぬ、アメリカは大量生產によつて大陸經濟を營み、ソ聯は強制的勞働によつて大陸經濟を營んでゐる。がしかし今發達しつゝある日本の經濟は更に新たなる要素を加へ、滿洲、支那とともに東亞に於ける大陸經濟を建設するためには、新しい工夫と新しい創意を加へ、そして他の民族を導いてその世界的な建設を遂げなければならないのである。また日本の經濟は新しい自由貿易の世界經濟を建設せしめて行こうとするものであることを忘れてはならぬ。これがためにはあらゆる世界市場に對して正々堂々自由な競爭に常に打ち勝つべき準備と工夫と活動力とを有しなければならない。われ〳〵は東亞に於いても、他の諸國との商業上の自由競爭に對してはこれを人爲的に拘束することなく、しかも日本國民の聰明さと活動力、創造力を以て自由なる戰ひをなし、而して自由なる勝利を得るやうにしなければならない。諸外國の如く門戶開放、機會均等を主張して居りながら、自らは世界の市場の門戶を拘束するが如きことはわれらの執らざるところである。今や日本國民は日本民族の固有する精神力により、大きく海洋的な性格と、大陸的な性格とを融合せしめて、世界に對して大東亞の建設を完成し、世界に貢獻すべき運命を擔つてゐるのである。事變以來幾多の困難があつたに拘らず、國民は生活を新たにしつゝ新しい建設を營みつゝある。軍事行動のあとに、資源を開發しつゝあるのは新しい東亞の經濟を建設せんとする保全のための行爲である。

"石炭直接液化法"を語る（七）

山本、松岡兩總裁 石炭液化の二大恩人

撫順液化工場は撫順の新工業地帶にトップを切つて新設されたが今や同方面には滿洲輕金屬會社、南昌工業、製鐵工場等が引次いで建設され素晴らしい發展を爲して居る、撫順では此の工業地帶を山本町と呼び其の反對側の社宅地域を松岡町と呼んで居る、此の附近は數年前は畑であつたが昨今の發展ぶりは素晴らしいものがある、此の町名は初めて液化工場が出來たときに名付けられたものと思はれるが石炭液化の二大恩人山本条太郎、松岡洋右兩前總裁を記念するに相應しい名前である、撫順から自動車を驅つて古城子河に架せられた松岡橋を渡つて山本町に入ると最初の工場が液化工場である、現在の撫順液化工場長室に入つた人が一番に目につくのは故山本条太郎總裁の寫眞と其の下に掲げられた額入りの久保炭礦長に宛られた山本總裁の書翰並に此れに對する久保炭礦長の一文である、此れを再錄して滿鐵今回の成功の最大恩人故山本總裁の慧眼其の熱意を示し以て其の遺業を偲ぶことにしたい

故山本總裁の尺牘に就て

故山本条太郎總裁の手腕と識見は遍く人の識る所、何等正統の學歷を有せずして眞に活きたる學術を體得せる洵に驚歎の外なし、其の事業に對する見透し及計畫實行は實に奔流の如く又磐石の如し、自昭和二年至同四年我滿鐵に總裁として在任し、幾多の功績を殘されたるが、撫順炭礦に於ては恰も油母頁岩工業の企業計畫より其の建設に至る間に處して該工業今日の隆昌も之偏に故總裁の賜に外ならず此處に掲ぐるものは昭和九年春小職に寄せられたる私信なるが、總裁在任の頃既に今日の石炭液化に著目され、特に海軍に費用を寄贈して液化研究を助成されたるの事實を知るとき、誰が其の先見の明に敬服せざる者あらんや、然るに總裁は昭和十一年三月二十五日惜くも逝去され今や空し、撫順炭礦の石液化事業正に成らむとするに當り感慨なき能はず茲に私信を公にして以て故人の遺澤を忍ばむとす

昭和十四年一月

撫順炭礦長　久保孚

拜啓、其の後打絕へ御無音に過居候處益御健壯時局の推移と共に專ら御活動の由仄聞乍蔭慶賀且邦家の爲心強く感居申候、撫順近時の狀況御詳報被下、發展の現狀直に眼前に展開せる樣直感最愉快に精讀仕候、滿洲の經濟關係に就而は滿鐵其の他引續き研究の結果、追々根本方針も具體的組織も相建可申、殊に炭礦方面は貴君初め多年練達の人々相揃居候事故、事々理想的に整備可致常に期待罷在候處に御座候、御來示に從ひ一二愚見を申述れは、撫順としての將來計畫の第一義は日本及滿洲の國防即ち國際經濟の見地よりして石炭液化および低溫乾溜に依り給油政策を確立するに在りと存候、液化の事は小生在任中海軍に三十萬圓寄贈し更に不足に就き仙石老人を說き同額の追加を爲し、今以て海軍に於て研究中に有之候間之は暫く海軍に一任することゝし、貴方にては是非低溫乾溜に全力を擧げて研究相成度希望に不堪候、先日英國の化學學會の會長にて社會的にも有名なる仁大使の紹介にて尋參り承り候處、英國にても國家經濟上及炭業維持の爲愈大規模の工場建設に著手せし由

問題はコーライトの處分なるが政府より强制して鐵道に使用さする云々申居候如貴說滿洲にてもガソリンの需要は年々激增し內地鐵道の煉炭使用も當局と連絡すれば多額の用途あり、生地の炭を輸入し同業者と年中爭ふよりは餘程競爭も緩和可致と被存候、研究の上不取敢一日一百屯位の工場新設の事是非希望致候、差當り三百萬屯位は使用の案を建度く鐵、電業、ガスに三百萬屯總計六百萬屯の採鑛を目標とし五箇年計畫樹立され度企業者は資產勘定を建て永年の償却とし經營とすれば單價は相當安値に付、收入も相當相立可申樣想像致候、各種副業に就ての御高見も面白存候爲適當の者は御紹介御配慮可煩、尙申述度事項も有之候得共餘日に讓り本便は貴答迄に之にて相略し候　匆々

時下折角御自愛奉禱候

二月六日（昭和九年）　山本条太郎

久保孚樣

空陸軍相呼應して 敵據點淡水に猛進

英支國境の掃蕩戰酣

【廣東五日發國通】過般來英支國境線方面に集結しつゝあつた敵大部隊に對しわが南支陸の荒鷲部隊は引續き偵察續行中であつたが四日午後地上の中島部隊と協力して廣九線天堂圍、柳頭方面の敵を攻擊更に天堂圍東方の黃洞附近に蟠居する約三千の敵に對し猛烈なる爆擊と機銃掃射を浴せこれに呼應する中島部隊主力は五日早朝來同方面の敵を包圍し敵はわが空陸よりする猛攻に堪へかね算を亂して潰走した、同方面の敵は獨立第二十旅に屬し五日午前中に判明せる敵の遺棄死體は約一千を算し重機二、チエコ機銃六、その他多數の武器を鹵獲しわが損害は四日以降戰死三、負傷十八を出せるに過ぎない、尙引續き同部隊は黃洞東方約三十キロの敵主要據點淡水に向つて進擊中である、一方東江、河谷を東進せる中村部隊の精銳は博羅西側地區で所在の敵を壓迫中である

江西の敗敵猛爆

【上海五日發國通】艦隊報道部五日午後四時發表＝中支方面戰況　昨四日海軍航空部隊は江西省北西省北西三都、觀前、修水を連ねる地域に於て地上部隊の猛攻擊に堪へかね湖北省境方面に向ひ退却を開始せる敵大部隊を發見しこれに果敢なる爆擊及び低空掃射を敢行、いづれも大打擊を與へたり

新京無盡十周年

辻專務取締役の挨拶

國都の庶民金融機關として貢獻多き新京無盡株式會社では四日午後五時から國防會館で既報の通り韓經濟部大臣、中銀興銀兩總裁始め金融經濟界の名士多數列席した當日辻專務取締役の挨拶が同社事業の概略を窺知し得られるので茲に紹介することゝした

本日經濟部大臣韓雲階閣下、滿拓總裁坪上貞二閣下、中央銀行總裁田中鐵三郎閣下、產業部大臣呂榮寰閣下、興業銀行總裁富田勇太郎閣下、在鄉軍人聯合分會長辻權作少將閣下、商工公會長閣下始め多數貴賓會員の御臨席を添ふし弊社創立拾週年記念の

式典を

擧行することを得ましたことは經營の衝に當る私と致しまして洵に光榮且つ又感謝に堪へない次第で茲に衷心から厚く御禮を申上ます、回顧致しますれば當社は昭和四年開原に於て呱々の聲を揚げました當時開原は特產市場として殷賑を極めたるも奉吉線開通に依り恰も砂上に取殘されたる船體の如き狀態に陷りましたので同六年四月撫順に支店を設け撫順無盡會社との磨擦を避くる爲め事業の中心を專ら滿人に向け業務の伸展に努めたのであります、然るに同年九月滿洲事變勃發するや會員の殆んどが離散致しまして四を失ひ胴體は空中に迷ふが如き狀態に陷りましたが經營上大恐慌を來たしましたが克く艱難と戰つて其の苦境をも無事切拔けることが出來たのであります、其處に於て會社と致しましては新興の意氣勃然として興り當時何人も計畫なき此の新京に事業の開拓を爲さんと各方面を歷訪贊成を得て出願しました處幾多の障碍に遭遇し一時進退の岐路に立ちましたが遂に願望相叶ひ丁度三年目の同九年一月漸く御許可を戴き同二月新京に開店したのでありますが更に同年七月には之を本店に昇格の御許可を得たので開原を閉鎖致しました、當時社員一同は國都に於て活動し得るの感激と堅忍不拔の精神を以て私かに國都の建設に專心奉仕せんことを誓ひ社內に新京神社を御迎へして每朝禮拜祈願し各自其の部所に精勵することゝなり爾來今日に至る迄之が每朝の行事となつた程であります、其れより同十一年治外法權撤廢に伴ひ無盡業法の公布せられますや忽ちにして四十有余件の出願がありましたのであります、此時政府に於かれては過ぐる歐洲大戰後のパニックに遭遇して關東州內及滿鐵附屬地內に當時亂立の三十有餘社は殆んど倒產して滿洲の財界を攪亂したる事實に鑑みられてか其の禍根と爲る營業の弊を避くる爲め一都市一會社主義を以て統制せられたるは無盡業本來の性質に鑑み最も適切なる措置と思惟するのであります、仍て我が社に於ても御當局の御慫慂に依り支店を同地撫順無盡に讓渡し茲に於て新京のみに主力を注ぐことになつたのであります

斯くして春風秋霜十ヶ年の歲月を經今日契約高正に六百萬圓に達せんとし諸貸付高三百萬圓、會員の數實に四千名を超え躍進滿洲國々都に於ての機能を發揚し建設部門の一端と貯蓄報國とに奉仕することを得たりとせば之偏へに監督官廳の御指導と諸賢の御援助の賜ものに外ならず而かも會員諸氏が此の關係共助的無盡機構の特異性を十分に理解せられて其の責任を果し下さることは何んと言つても弊社興隆の根幹を爲すものでありまして感謝感激之を言ふ表はすに適當の辭を知らないのであります、惟ふに國內貨幣の流通は恰も人體の血液に等しく中央銀行、興業銀行等の金融機關は其の大動脈にして無盡會社は實に毛細管の働きを爲すものと言ふべく兩者呼應して完全なる國家經濟の發達を期待し得るものと信ずるのであります、茲に拾週年を迎へて記念式を擧行する所以も啻に拾年を經たことを祝賀するのみでなく其の趣旨たるや以上述べました感謝の微衷を表さんとするので本來なれば全會員四千人の方々の

御參集を

乞ひ盛大に催すべきでありますが今日の時局は之等一般的の行事は遠慮すべきかと考へまして特に國家非常時に於ける「廣義的國防は無盡と貯蓄」なる標語の下に會員各位夫れ夫れ晝夜兼行汗との結晶を無盡貯蓄となし而かも掛金を定日定刻に一分たりとも遲滯なく五ヶ年以上完全に實行せられ實に他の龜鑑とも言ふべき優秀會員二百六十餘名中更に詮衡を重ねて嚴選したる百名を本日御招きして極めて質素に此の式を開催し感謝狀に記念品を拜呈することに致したのでありますが尙ほ之に併て部內社員中五年以上の勤續者にして成績優秀の者を表彰することに致しました

而して弊社は從來五週年記念式其他諸種の行事も節約し來たり今回も凡そ豫算を致しました其の經費の殘餘は之を時局柄獻金することに致したのでありますからどふか惡しからず御諒承を願ひます、最後に申加へたきは往時の無盡と異なり其の本質は安全確固たる相互金融機關にして之に特種の使命を課せられ合理的財界の發達に備へんとするものでありますれば常に「榮ある無盡の姿こそ我が帝國の譽たれ」と云ふ標語の下に熱と力と之迄の體驗とを以て堅忍持久奉公の實を擧げる一面社礎の强化を圖り一致協力全神全靈を傾倒して本來の使命を果さし皆樣の御高思に酬ひたいと念願して居りますから更に一層の御指導御援助を賜はらんことを只管懇願申上る次第でありきす、蕪詞を述べて甚だ失禮でありましたが以上を以て御挨拶と致します　事務取締役辻馨

ヘリゴランド島沖で海戰か

丁抹西海岸に砲聲！

【コペンハーゲン五日發國通】デンマークの西海岸各地では四日沖合で殷々たる砲聲轟くのが聞かれた、ドイツ海軍根據地のあるヘリゴランド島附近で海戰が行はれたものと信ぜられてゐる

蘇羅條約 正式調印了す

【モスクワ五日發國通】ソ聯政府はさきにエストニア政府と相互援助條約を締結したが今回更にラトヴィア政府とも相互援助條約を締結することになり五日モスクワにおいてモロトフ外務人民委員と目下訪ソ中のラトヴィア外相ムンテルス氏との間に正式調印を了した

【モスクワ五日發國通】五日調印されたソ聯、ラトヴィア相互援助條約內容左の通り

一、ソ聯はラトヴィアの海港三ケ所に海軍並に空軍基地建設權を獲得する

一、ソ聯はリガ灣防備のため沿岸砲兵隊基地を獲得する

一、ソ聯はラトヴィア國內に陸海空軍部隊一定數の駐兵權を認められる

ソ聯は右三條項の權利獲得により去る廿八日締結されたソ聯、エストニア相互援助條約に基きエストニアより獲得した數ケ所の軍事基地と相俟つてソ聯のバルチック海に於る軍事的地位を著しく增强されることゝなつた

獨軍戰況發表

【ベルリン五日發國通】ドイツ軍司令部は五日前夜來の戰況につき左の如く發表した

一、ウイスツラ河東方地區において四日來開始せられたるポーランド敗殘兵掃蕩戰は依然續行せられつゝあり

一、西部戰線においては小規模なる砲擊戰及び斥候兵の活躍を見たるのみなり

藥言毒語　佐藤膝齋（十四）

支那國論の二 大轉換（五）

官吏登庸試驗の大眼目は前段に說きたる通りなるが、世風日に降り試驗官の人物識量次第に淺になるにつれて、受驗者の學問の消化力を考試するよりも其記憶力の深淺如何を試驗することが其眼目となつて來た、自分は心理學には全くの門外漢ではあるが事實上より視て人間の腦味噌は兎角分解力と綜合力とを併有し能はざる傾向がある、例へば文法の分解に秀でたる人は綜合する文章は下手たることを免かれず、和歌講釋にかけては本居宣長も橘千蔭も三舍を避くる程であるがさて御本人の作歌と來ては蒼蠅が雪隱の窓に苦悶するにさも似たりといふのがある、天は二物を人に與へず甚だ無慈悲でもあり否つたれでもある

□　□

博聞强記の天稟絕倫なる人はいざ知らず概して記憶のよい人は學問は不消化であり融通の利かぬ人柄が多いやうである、但し國務院星野長官の數字にかけての記憶は故人大隈伯より一頭地を抽いてるが學問の實際化のソレ以上であることは私の一家言ではありません、是等は除外例に屬するものである

□　□

記憶力を唯一の釆點標準として官吏を試驗した唐の中葉即ち中唐は人材の登庸に全然失敗したといつて差支はない然るに懲りて膾を吹ける唐朝の試驗官は今度は川岸をかへて詩賦を以て登庸試驗を施行することにした、愚なるかな天下は明皇と崇め奉つた玄宗皇帝も安祿山が叛旗を飜して潼關近くまで攻めよせた急報を手にし、二十四郡一人の義士なきかと嘆息しても追付かぬ話である

□　□

親愛なる讀者諸君よ、唐朝開國の柱石は多く隋の王通即ち文中子の門人であつた、太祖を助けて大一統の業を完成した魏徵より房玄齡にせよ杜如晦にせよ皆王門の高足弟子である、是等不世出の英物をして不幸にして記憶力の如何や五言排律の巧拙を試驗されたら幸ふじて及第點を得るの程度であつて迚も狀元宰相の榮冠などは夢想だも及ばざる所であらう、謂ふこと勿れ亂世の英雄必しも治世の能臣ならずと、大用を貴ぶ大材は決して白魚を掬ふやうな玉網で捕れるものでなく、千里獨往の氣魄ある駿馬は斷じて雜役馬と其槽櫪を俱にするものではない

盛唐の亂ありて後詩賦と文章とを以て人材考試の道具にしたが其結果に於ては何等擧業の弊風を一新し得るものがなかつた、五代は亂世を終始し、宋に至つて唐制を襲き主として重きを文章に置いたが蘇東坡兄弟の如き或は文天祥の如き此門戶よりの出身といふよりも、天成の偉器が宋に惠まれたと觀る方が妥當であらう

□　□

お話にならぬのは明代に制定した試驗用の八股文である　この八股文格式の如何に馬鹿々々しく愚劣なものであるかは其制度を襲用した清朝の英主康熙帝や乾隆帝の御存知ない筈はない、正直にいふならば秦の始皇は群書を一炬に付して天下の民を闇愚の谷に突落したが、清朝の名君は八股文試驗制を設けて有爲の青壯年を去勢したのである

□　□

この八股文試驗制度は確か日露戰役の前一年光緖二十年頃に時勢の變化已むなしとて廢止されたが免まれ開國以來二百五十年間この苛酷にして無意味なる格式の爲めに如何に有爲の人材が世用とならずに無用の學士が登用されたかは蓋し思半に過ぐるものがある

□　□

清朝時代には今一つ惡い事があつたそれは官吏の俸給が極めて薄給なことで明朝で削減した俸給令を有無をいはず天引二割減にして了つた、嘘ではない清末に於ける大學士の年俸は僅に銀三百兩、米五十石（籾にて給す）私の恩師など大禮服を典物にして朝見に大まご付した事がある、聞くならく康乾の物價低廉な時代には是でも十分に面子を保てたさうであるが世を光緖の中葉となり而かも北京に住居して米は玉の如く薪は桂の如き物價騰貴に苦められ生活難が五臟六腑に浸透しては節義鐵石の士と雖も餘り有難き御治世とは思はぬであらう。

本年度競馬も 愈よ最後の一戰

期待沸く二日の盛況

本年度に於ける新京國立賽馬の最終となる秋季第三次レースの第七、八日目の兩日は愈々けふ、明日の二日間をもつて掉尾の一戰となつた、本年は全期間を通じて成績良好、馬券賣上並に入場人員の增加は昨年度に比べると八割强を突破るといふ壓頭的なもので ある、產馬開發の波に乘つて競馬發展の動向に一エポックを呈したものと謂はざるを得ない、縱て今後の賽馬企畫に對する當局の方針には相當有力なる現勢力となつたことは勿論であつてこの反映こそ產馬及び畜產資源の將來に對する抱負たるや期して止まざるものがあるだらう

△　▽

捉て名殘りの二日に於ける出走馬であるが、今日はまた七十七頭といふ寂しさである、優勝競馬を前日に控える前景氣としては聊かその例を見ぬところであるが、各レースに充實したるメムバーの對立となつた事に興味を味つてよからう最終後半レースの人氣は穴への待望となつてお名殘りレースに滿都ファンの白熱的盛況を期待される

勝馬豫想

▲第一秋抽　一、六〇〇米
一 新活虎 [illegible] 前田
二 世紀 [illegible] 脇山
三 怒留美 [illegible] 有吉
四 榛 [illegible] 小川
五 第二金渡 [illegible] 田部井
六 大泉 [illegible] 梶原
七 啓龍 [illegible] 遠田
一着 五　二着 四　穴 三

▲第二外馬障碍　二、四〇〇米
一 哈克勇 [illegible] 前田
二 雲祥 [illegible] 池田
三 金駒 [illegible] 甲斐（啓）
一着 三　穴 二

▲第三抽古　一、六〇〇米
一 天狗 [illegible] 甲斐（啓）
二 雅 [illegible] 熊谷
三 第二濱龍 [illegible] 梶原
四 更生 [illegible] 谷尾
五 至寶 [illegible] 內田
六 若登美 [illegible] 田部井
一着 六　二着 三　穴 二

▲第四抽古　一、六〇〇米
一 磐古 [illegible] 甲斐（均）
二 新發田 [illegible] 甲斐（啓）
三 新玉 [illegible] 上原口
四 磯千鳥 [illegible] 川本
五 四天 [illegible] 落合
六 豐生 [illegible] 小川
七 午林 [illegible] 田部井
一着 五　二着 一　穴 四

▲第五抽古　一、八〇〇米
一 奉天木會 [illegible] 田部井
二 清光 [illegible] 中塚
三 奉天鮮勝 [illegible] 池田
四 相生 [illegible] 前田
五 宏輝 [illegible] 甲斐（均）
六 新常陸 [illegible] 濱崎
七 玄洋 [illegible] 梶原
八 大飛將 [illegible] 熊谷
九 青燕 [illegible] 久保
一着 四　二着 一　穴 六　三着 七

▲第六抽古　一、八〇〇米
一 公流 [illegible] 落合
二 彪 [illegible] 谷尾
三 新京輝 [illegible] 川本
四 武光 [illegible] 前田
五 朝日櫻 [illegible] 池田
六 福孝 [illegible] 田部井
七 除光 [illegible] 小川
八 飛仙 [illegible] 甲斐（均）
一着 四　二着 六　穴 五　三着 七

▲第七抽古方變　二、〇〇〇米
一 午長 [illegible] 前田
二 石洲 [illegible] 內田
三 金霞 [illegible] 久保田
四 里仙 [illegible] 梶原
五 第三連寶 [illegible] 岡野
六 吉生 [illegible] 濱崎
一着 五　二着 四　穴 六

▲第八外馬　一、八〇〇米
一 大連金東 [illegible] 熊谷
二 朝洋 [illegible] 脇山
三 慶春 [illegible] 田部井
四 第二伊吹 [illegible] 小川
五 第一武藏 [illegible] 前田
一着 三　二着 四

▲第九抽古　一、八〇〇米
一 晴海 [illegible] 久保
二 玉日本 [illegible] 梶原
三 勝駒 [illegible] 落合
四 駒光 [illegible] 谷尾
五 宿彌 [illegible] 田部井
六 滿洲鶴 [illegible] 地田
七 諏訪 [illegible] 甲斐（啓）
八 福丸 [illegible] 松本
九 菊香 [illegible] 遠田
一〇 保王武 [illegible] 久保田
一着 三　二着 六　三着 七　穴 一

▲第十抽古　一、八〇〇米
一 新旭 [illegible] 上原口
二 大響 [illegible] 松本
三 第一麒麟 [illegible] 熊谷
四 趙鵬程 [illegible] 小川
五 博勝 [illegible] 久保田
六 新勇 [illegible] 田部井
七 新宇治川 [illegible] 川本
一着 三　二着 四　穴 七

▲第十一抽古方變　二、〇〇〇米
一 大鹿毛 [illegible] 遠田
二 東駒 [illegible] 岡野
三 公山 [illegible] 落合
四 惠駒 [illegible] 熊谷
五 早姬 [illegible] 前田
一着 五　二着 一　穴 四

▲第十二抽古障碍　二、二〇〇米
一 奉天電波 [illegible] 田部井
二 大先飛 [illegible] 岡野
三 新松綠 [illegible] 前田
四 一貫 [illegible] 小川
一着 一　穴 四

商況 六日後場

各地株式市況

●大連株式（短期）寄付／大引：五品、大新、新東、滿業、鐘紡、同新、證新、豆新、土木 [illegible]

●奉天株式（短期）寄付／大引：新東、滿業、大新、鐘紡、同新、證新 [illegible]

手形交換高（六日）[illegible]

協和欄

綱領

一、滿洲帝國協和會は唯一永久、擧國一致の實踐組織體として政府と表裏一體となり
一、建國精神を顯揚し　一、民族協和を實現し
一、國民生活を向上し　一、宣德達情を徹底し
一、國民動員を完成し
以て建國理想の實現、道義世界の創建を期す

強く正しく……政治の明朗化
平島滿鐵新京支社長全聯觀

全聯も六日目を迎へ會期も剩すところ僅かとなり各代表は早朝より唯食事時間の休憩をとるのみで連日素晴しい馬力のかけかたで議案の檢討に物凄い熱の打ち込みやうであるが、この全國聯合協議會制度を作り上げた當時の協和會にあつて八面六臂の活躍をしたかつての協和會中央事務局次長現滿鐵新京支社長平島敏夫氏は五日も本部委員席に顔を見せ目を細くして歸つて行つた、この飛躍的發展をつゞけてゐる全聯成長の姿こそ氏にとつて限りない喜びであらう五日午後氏を滿鐵支社長室に訪れ第六回に全聯觀を求むれば彼の上品な顔の造作を崩し巾びろなバスで

形の上から見ても内容の點からも年々幾何級數的躍進だといへる、各代表の討議の眞面目さは言ずもがな提出議案を一瞥すれば國民生活、實際に觸れた多くのものが提出されてゐるし各代表の顔觸れも民族、職業兩方面とも適當に選出されてゐるやうだ、それに各代表は以前に比較して何れも議案について相當研究用意をして來てゐる、たゞ難を云へば未だ一部に演說か何ぞのつもりで議口上が長過ぎて議事の進行を遲くしてゐるのが見受けられた、今年から議決方法に新に衆議統裁といふ言葉が使はれるやうになつたか、これは洵に協和會の議決方式を端的に完全に表現し得た適切な言葉を考へ出したものだ、元來協和會の議決方式としては少數意見といへども眞にとるべきはとるといふ所謂道義的滿場一致制で單に數學的滿場一致制度ではないのだ、なほ今回の全聯で分會や懇談會を活して利用して行つてゐるのは著しい進步と云ふべきであらう、兎に角かゝる充實した全聯があることは益々政治を明朗化し益々政治を正しく力强くすることに役立つといふことを感じさせられる【寫眞は平島支社長】

郵政懇談會

郵政關係懇談會は五日午後七時半より實踐本部長室に開かれたが、政府側より郵政總局小原副局長、上田企畫科長、岸本電政科長、勝矢郵政科長、電々より中田理事および首都奉天、通化、北安、濱江、東安、錦州各省代表出席

一、日滿支三國共通の特殊郵便切手發賣方に關する件(錦州)
一、日滿郵便切手並に郵便葉書の無料交換制度採用に關する件(奉天)
一、夜間電報並に夜間電話料金引下げに關する件(錦州)

につき各代表と小原郵政總局副局長、中田電々理事等の間に質疑應答が行はれ、結局本部一任となり午後十一時卅五分散會

全代表態度の眞摯さに感激
白柳秀湖氏感想語る

全聯五日目鮮農開拓民問題が論議されてゐる午後の議場に來滿中の歷史評論家白柳秀湖氏がひよつこり姿を現し約十四分にわたり熱心に聽講して歸つた、この現代歷史評論の第一人者である同氏の頭腦に發展過程にある全聯が如何に映したか感想を叩けば次の如く示唆に富んだ談話を試みた

全聯を見て先づ全代表の態度の何れも極めて眞摯なのに打たれた、席は殆ど空席といふものがない、そして全代表は各民族どの代表の發言をも皆熱心に傾聽してゐるのには感心した、會議の行き方についてはニ三問題になる點もあるやうだがツラン民族は他民族を擁して神代の昔から神集ひに集ひとか神諮りに諮るとかいつた言葉もあるやうに汎く民衆の聲を聽き會議を尊重して政治を行ひ理想的な效果を擧げて來たが自分はこゝにこの神ながらの會議型式を見出した感じだ、これはこの會議において解決された事項が政府をも拘束し得るまでに發展するのが理想であらう

〃〃〃 分科會風景點描 〃〃〃

△本會議で論議されなかつた問題だけに微に入り細に亙つての討議、委員連も腰をもぢもぢさしての熱心振りである、農村金融一元化問題だけで驚ろく勿れ四時間と言ふ長時間の休なしの熱論この間各委員の熱辯もさることゝ作らたつた二人の通譯氏の四時間に亙る舌の活躍勞を謝して餘りあるもの

△各代表の熱氣に押され氣味の岸次長極く柔らかな答辯のつもりで金融の流れについて「厚い方に薄く、薄い方には厚く」とやれば滿場哄笑、松田饗代表「限界をはつきりせよ」と喰つてかゝる

△この分科會で笑つたのはたつた一回、これはいがみ合ひの結果ではなく眞面目な結果の生んだ頼もしいもの

△米穀問題の最中夕食の丼が屆く、某代表深刻な食へない食へないを連呼して柏村次長のボーイとした答辯に飽き足らず再び立てば滿場一「議長々々」と連呼「飯を食つてからにしやう」に某代表ぶつぶつ言ひ乍らも丼をみつめてニヤリ

△第二議題が石坂農務司長の細々しい叮寧すぎる說明で九時を廻れば議長、小麥價格問題を本部一任に片付けんとするや久保代表「分科會の意義を發揮させて本會議で言へなかつたのだから充分やらして下さい」にさすがの委員達も一齊にふり向く、會場遽かに活氣づいたが質問者獨り舞臺とは=頑張り過ぎも良し惡しと言ふところ

△又本部一任も考へもの、何故休憩してやるとか、後日に讓るとしないのか、技術の點もあらう、委員としては又本部一任ではちよつと具合が惡く寢ざめの惡い事でもあらうが

衆議統裁にも皆の協力が必要
協和會運動先驅者 小山貞知氏語る

全聯議場の協和會役員席や議長席の後方の雛壇には會務職員の外、協和會運動に直接間接馴染深い人が毎日つめかけて熱心に傍聽をしてゐるが、この中に毎日早朝から議場に現れ暗くなる迄みじろぎもせず代表の發言に、政府の答辯に耳を傾けてゐる一見和尚然たる風貌の持主がある、この人こそ協和會運動のスタートを切つた當初からリーダーの一人であり、今日も大連の協和會支部長の任にあり、併せて「滿洲評論」の社主を兼ねる小山貞知氏だ、協和會の誕生から第六回の全聯を開く迄成長した協和會は氏の眼にはたのもしく成長し行く愛兒の姿とも映ずるであらう、四日夜宿舍ヤマトホテルに訪れ氏の第六回全聯觀を叩けば=

△全聯の發展成長ぶりは昔を知つてゐるだけに今更乍ら今昔の感に堪へない、上程される議案は何れも國民生活に密接な關係あるものばかりだし、之を協議する代表も議事について餘程の修練を積んだ樣だ、何と云つても滿洲國にとつて協和會は無くてはならぬ存在であり、全聯も亦表面に表れたもの以外滿洲國にとつて大きな無形の使命を果してゐるのだ、我々は全聯を見る場合このことをも併せて考へなければならない

△議事の進めかたについて今年度からは新に「衆議統裁」が行はれる樣になつた、これは從來の滿場一致制が數的なものであるに對し衆議を尊重し乍ら之を全體の立場へと高揚させる作用を營む哲人政治とも云ふべきものである、今年から始めて實施されるものだがこれとても今後立派に行はれその成果を發揚する樣になる迄議長は勿論のこと代表も、政府も、協和會の役員もみなが一致協力して議長を助けつゝこの制度を成長させなければならぬ、この意味において來年からは議案整理委員會や分科會、懇談會を充分活用して當分の間側面的に衆議統裁の行はれ易い樣努力して行かねばならぬ、これさへうまくやれば會期も今位でよいと思ふ、何事でも一朝一夕に完全なものが生れる事はないのだ

△「宣德達情」と云ふ言葉は元來帝制實施の際皇帝陛下から御下しになつた詔書の中にある御言葉で上意下達下意上達を最も簡明適切に表現した辭句として申分ないものである、今度の全聯で出席各代表が述べる意見こそは近代國家としての形を整備しつゝある滿洲國が地方ではなほ低い水準にあることの象徵である、國都新京が近代都市としての威容を備へてゐ乍らその周圍には舊式の家屋が並んでゐるのと全く同樣だ、今の全聯の使命、役割もこのギヤツプを調整するためには極めて大きい

△今度の全聯では政府の施政方針でも協和會來年度の運動方針でも將又上程議案について見ても民生尊重の聲が高い、これは極めて結構なことであるが、民生政策の尊重と共に產業政策についてもその立案實施に當つては民生の立場を忘れてはならぬ

全聯を見る

△御神勅に淵源を求め大協和の理想を說き王道警務を目指す植田警務司長の熱辯は滿堂を魅了して萬雷の拍手を得たが

△冷嚴な現實は泣訴する民の聲となり王道警察未だしの感深し

△佛の慈悲は出でゝは降魔の利劍となり入りては觀音の大悲となる

△力の最たるものゝ暴力に出づるはないが、鞭は飽くまで慈悲の鞭でなくてはならず殊に王道警察においておや

△全聯代表と雖も民衆の一人、警察力の對象に甲乙なしとすれば、よくせきの事なくば泣訴續出とはなるまい

△萬象肅殺の秋、荒涼の冬の跫音を前に建設に驀進する民をして「見ざる、云はざる、聞かざる」の三申の大悟に徹せしむる勿れ

讀者の木領分

投稿中傷不歡迎

小麥粉配給方法を改めよ(一町人)

政府は十二月一日から小麥粉の專賣を實施するといふ。大變結構なことではあるが、之を以つて現在の供給不足、配給不圓滑が救はれると思つたら、甚しき早計である。今までも小麥粉の小賣は許可制度で、全市に約百三十軒の小賣業者があつたが、事實は小麥粉が配給されない爲め大部分有名無實となつてゐた。そして菓子商とか麵類業者とか又多數の勞働者を擁する土建協會とかには、小麥粉配給組合より直接配給し、一般民食の分は區を通じて町會より切符を發行し、特に指定した小賣業者をしてその切符と引替へに販賣せしめてゐた。だから値段の點に於ては近來は公定價格が嚴守され、闇相場の取引の如きしやうと思つてもその品が最早市内に跡を絕つてゐる。たゞ問題となるのは斤賣の場合で、往々値段が不統一であつたり、又一等品に二等品を混入して一等品として賣る等々不正手段は公然行はれてゐる。專賣制度となればこの點は匡正されるであらう。それと共に從來家庭用の小量のメリケン粉は何處の雜貨店でも買へたのが、百匁買ふにも必ず指定小賣店に行かねばならなくなり多少の不便は免れまい。

それはいゝとして一番問題となるのは小賣業者をして如何なる方法に依り販賣せしむるかにある。專賣局の供給量が民間の需要量に達するなら問題はない、けれども依然としてこれが不足なる以上民間の受くる苦痛は毫も輕減されない。現在市民の困つてゐるのは小麥粉の値段が高いからではなくして、高く出しても買へないからである。代用品の强制混入の如き需要量節約の爲めには差向き大なる效果がありとも覺えぬ。現に滿人は二等粉すら嫌つて買はうとしないのを見ても判る。それ故若し漫然小賣業者をして無條件に販賣せしめたならば、忽ち品切れとなり、又々小麥粉地獄を現出するのは火を見るより明かである。

本年二月以來市は區に依賴して切符制度に依つて配給せしめてゐたが、之は回を逐ふて漸次好成績を收めつゝあつたに拘らず、九月中秋節前の配給よりは、突然方法を改めた、即ち從來は各區に於てその割當袋數だけの配給券を發行し、之を滿人人口に應じ各町會に分配、町會は各戶に適宜配付し、それを持つて指定小賣商から引換に品物を購入せしめてゐたこの方法は家族數の多少に依り幾分の甲乙は生ずるとしても、小家族の家は二軒分一諸にする等の便宜手段により略々公平に行つてゐた。然るに市はそれを改めて炭酸紙式の傳票を一戶每に記名で發行し家族數に應じ斤量で交付することとした、之は非常な手數を要するのみならず、滿人の戶籍が完備してゐるか、若しくは小麥粉の配給量が無制限でない限り實行不可能である即ち戶籍のない滿人に對し、區內何千何百戶の傳票を豫め發行することは不可能なるのみならず、家族數何人と云つて來るまゝに書いて與へて居つたのでは何時割當量が無くなるか全く見當が付かぬ。かゝる机上の空論より案出した不合理なる方法では配給出來ないと各區とも非難囂々だつたが、ともかく漸く中秋節二三日前に割當を受けた始末で町會員の困窮の狀態を見るに忍びないものがあり、彼是言つてゐる暇がないから何れも便宜非常手段で無理に配給をした。各區では若し市が其の非を悟らず再びこの方法に依らしめやうとするならば、最早配給のお世話は出來ないと言つてゐるから、恐らくこの問題は尙紛糾するものと見られてゐる。要するに專賣制が布かれても必ずしも小麥粉問題解決の鍵とはならず、それよりも需用者側に對する配給方法の考究が刻下の急務であることは一般民間側の意見である。

交通部施政方針 (下)

五、航空 わが國情よりみて航空事業の發展如何は國防、治安、產業開發等に重大なる影響を及ぼす虞れがあるので政府ではこれが圓滑なる運營は國自體その衝に當るを最善なりとし本一月より從來滿洲航空會社、公共飛行場、航空通信或は航空燈臺等の諸施設及び觀象臺等所謂航空基本施設を總て交通部の行政下におき一元的經營の上に所期の目的に向ひ一路邁進の過程を進つてゐる、先づ本年度より三ケ年間民間航空の整備を期するため全滿各地の航空據點七ケ所を設置して內外航空路の擴充、接壤線の新設等に全力を注ぎ、又飛行場の新設整備、航空通信、航法施設の增備、觀象機關の整備充實を圖らんと目下着々と實效を擧げつゝあるが、現在のところ實に微々たる狀況で今後大いに擴充し航空の確實性、安全性を向上せしむるやう極力努力する

更に航空機乘員の養成、就航機種の改善或は航空保安施設の保全等爲すべきことは山積してゐるが、要は現下の非常時局に於ける航空事業の占むべき役割を十分に理解され航空事業の健全なる發達と國防國家態勢の完璧に萬全を計らんが爲各位の助力と國民の協力を懇望する

六、都邑計畫 建國以來諸政策の進展、產業の急激なる發達、鐵道の新設等に刺戟せられ各地に人口の激增を來たし新興都邑の勃興は實に驚異に値するものがあり此處に於て政府としては成る可く速かに主要都邑に對し一定の方針に基て永久的計畫を樹立致し度ると努力してゐる、都邑の公共施設を爲すことによつて最も直接の恩惠を享ける者は云ふ迄もなくその都邑の住民であると云ふ點及都邑民は比較的經濟負擔力に富むと云ふ點からして都邑の施設は原則として其の自治團體に於て負擔するのが當然であるとし其の財源を市街地經營による收益に求めたのであるが、都邑の構築が國家的見地よりして重要なる事且つ都邑施設概ね恒久的施設である爲等よりして之等に對し相當の補助をなす可きものと認め國費の計上に就き協力努力してゐる

七、郵政電報 わが國郵政は建國後先づ營利に偏した事業運營方針を放擲して何處までも郵政公共性を强調し國民文化の向上、產業の開發、經濟力の伸張或は對外情勢の推移に即應し將に日滿不可分の根本義に則り制度を整へ物心兩面の充實强化を圖り國民のため國家のため郵政事業を經營せんことを目指しその根本方針を樹立したので、爾來今日までこの根本方針は少しも變つてゐない、郵政各種事業の躍進狀況を數字によつてみるに先づ郵便物の取扱數は國內通常郵便物をとつてみると大同二年末においては發着合計約一億五千三百萬件であつたが、昨年末には三億九千四十萬件に達し約二倍半以上の增加となつてゐる、外國通常郵便物については康德元年末において發着合計約三千九百五萬件であつたものが昨年度末は二億七千五百卅萬件となり、約七倍以上の激增振りである、郵政爲替では國內爲替は大同二年末受拂口數四十四萬一千四百九十件一千三百十一萬餘圓が康德五年度末は四百四十萬四千四百十件一億三千五百十萬餘圓となり約十倍餘の增加振りを示してゐる、日本との爲替は大同二年末の受拂口數は七萬八千六百卅七件百八十八萬餘圓が康德五年度末には二百七十一萬九千五百四十二件八千九百十七萬餘圓となり驚異的增加である、郵政儲金においては大同二年末において人員一萬六百六十七人領入高廿萬圓餘康德五年度末には六十三萬八千餘人五千百六十一萬圓となつてゐる、この郵政儲金については昨年末から本年度へかけて特に非常な增加を示して來た、各位も御承知の通り先般來わが滿洲國においても本年度五億貯蓄の大運動が展開せられわが國產業資金の獲得に國民各位の熱烈なる御協力を願つた結果最近においては八千萬圓を突破する狀態で一億圓の年內突破は易々たるものとなり、各位の積極的協力を切望する、次に郵政生命保險は創設以來未だ滿二周年を經過しないが康德五年末には契約件數十九萬七百九十二件、保險料十七萬四千七百九圓、保險金額二千六百廿八萬一千三百四十圓の多きに上つてゐる　云ふまでもなくこの郵政生命保險も國民貯蓄運動の一翼を分擔するのであるから各位の協力を得て本事業の發展に全力を擧げたい

家庭

一流家庭に多いおやつの弊害

虚弱な兒童は殆んど母親の無知から

虚弱 兒童といふものはどう、して生れてくるか又どんな種類があるかと云ふことに就いては父母の身體の缺陷が遺傳して、生れる時から身體の發育が悪いものと、それと反對に生れ時は發育が良かつたが成人するまでに悪くなるものと二種類が先づ問題となります　生れ乍にして弱いといふ兒童は母親の結核性病の遺傳に因るもので、これは誰でも知つてゐる事柄ですが成長してから身體が弱くなるのは、極めて微妙な原因からその多くは

母親 の不注意からの結果で、(一)不適當な人工榮養(二)離乳期の不適當(三)乳兒期の偏食の以上三つからです。幼兒になつてから腺病質となり、結核に冒され、又氣管支ガタルが肺尖となり、或は疫痢ハシカ等の重病氣になるなども原因はそこにあります、特に偏食の害は甚だしいものがあり癇の強い、夜泣きをする、眞夜中に飛び起きる。或は肥つてゐるやうでも特異な體質になる等は此の

偏食 からの榮養不良が撮大原因です　東京市內の託兒所には約千六百人の乳兒がゐますが　そのうち二百人は虚弱兒童で、其の原因は既に述べた三種類の原因からのものと、缺食のための榮養不良どいふ中にはは二種あります、貧困のために榮養物を攝れないものと、他の一は貧困ではない母親の無知から飲食狀態と同じ結果になるのです辨當の副食物を作るのが面倒なので味噌汁の實をしやくつて入れたり、或は醤油をかけてやつたり、又は毎日赤しやうがや、

梅干 ばかりを入れる母親です、併しをかしことには、い丶家庭にも偏食が非常に多いのです、此の偏食は、初めおやつの不適當な與へ方からはまるのです、夕食事前におやつをやる習慣が夕食を十分食べずに寢るやうに子供をしつけさせ、それか重くなつておやつばかり、食べて食事を食べなくなる結果となり食事に好き嫌ひが出て來ます、い丶家庭でも極度な偏食が出て來るのは斯うした順序で説明されます、榮養不良のための虚弱兒童が腺病質となり。結核性へ移つて行くのは貧民窟の子供ばかりでなく、上流家庭の子弟の多い

幼稚 園でもよく見受けることであります、おやつは夕食のさはりのない、消化し易い含水炭氣を主とするもので、蛋白質の少ないパン、ビスケット等や果物が適當で、牛乳、クズ湯なども結構です、小さい子供ならば朝十時と午後三時、五六歳位ならば午後三時一度だけがよいのです、虚弱兒童の生れる原因、種類等は大體説明が終りましたが貧困のための缺食以外は、母親の注意一つでどうにもなるものでありますから、十分な注意が望ましいものであります．

「蝶々夫人」解說 (6)

滿鐵新京吹奏樂團指揮　加藤哲之助

胡蝶はスヾキを外に出す、そして父の短刀を以て自双しやうとする、刀の双には名譽を以て生くる能はずんば名譽を以て死せといふ句が彫つてある、其時スヾキは子供を其の部屋の中に入れる胡蝶は子供を抱いた、そして『わが愛する偶像よ』の抒情調をうたふ、その中に彼女は自分が彼の幸福のために自害する事を語つて一目よく其の顔を見覺えて置いて異れと云ふ、そして彼女は子供に亞米利加の旗と人形とを持たせ眼かくしを施して遊ばせる、彼女は短刀の双を凝視しながら屏風の影へと入る、やがて短刀の床に落ちた音が聞える、そして胡蝶は悲しげな笑を浮べながらよろめいて此方に出て來る、彼女は子供の方に探り寄る、そして其の場に倒れてしまふ。

◇―――◇

此の時ピンカートンの聲が聞えた、そして右手の戸が激しく開かれる、其所にはピンカートンがシャープレスと共に現はれる、哀れな胡蝶の姿は忽ち彼の眼を射た、胡蝶はピンカートンの顔を見て、子供の方を指さしながら息が絶えてしまふ、ピンカートンは其の場に跪いた、シャープレスは子供を抱き上げて涙ながらに接吻する、アンダンテ、エネルジコで管絃樂は『推量節』のそれにも似た旋律を奏する、幕は急に下りる、そしてロ短調から急に轉じたト長調の和絃の強い響きに『胡蝶夫人』は終るのである。

『胡蝶夫人』の音樂は何れの部分を取つても美しい極みである、そして此の作は劇としても相應の效果を持つて居る、日本人である我々はこれの上演を見て其の衣裳、動作等の餘りに眞の日本人の其れと相違してゐる點から滑稽乃至不快の感を抱くのは止むを得ないが日本の生活や風俗を知らない歐米人に取つて此の點は問題に成らない、これが爲に最後に胡蝶夫人が其の子供に眼かくしを施して、其の無心に遊んで居るのを見て自殺するあたりは多くの感銘を彼等に與へる事を常とする、外人の多くがあの部分を實に悲愴だと皆云つて居るのも亦此の事を證據立てると共に、あれまで日本婦人の眞髓を表した作者の偉大さを認めねばならぬ。

◇―――◇

プチニが此の歌劇の中に日本の俗謡を巧みに取り入れて居る事は實に驚くべきものである、そして皆相當に效果を得て居る中にも『越後獅子』の旋律は最も適切に用ゐられて居ると思はれる、私は我が國の好樂家が皆此の作を一通り研究する事を希望してやまないものである、尚此の外プチニの代表的歌劇としては『ラ、ボエーム』『マノンレスコー』『トスカ』『西の國の乙女』等がある。

第一次大戰當時 商船の拿捕!

四年間碇泊した墺國商船

獨逸大擧ポーランド侵入、第二次歐洲大戰の火蓋は切られたと見る間る、外電は突如「獨最大の汽船ブレーメン號英海軍に拿捕さる」と報じ

事態 いよいよ大動亂へ驀進を思はしめたのである。ブレーメン號は五一、六五六トン、ドイツ最大の汽船であつたが、ニューヨークヨリハンブルグに向ふ途中來だに拿捕の報道眞僞は不明である。此やうに商船拿捕といふ問題は、前に世界大戰にも屢々惹起したが、今其數例を回顧して見やう。ドイツ商船インペラトール號(五二、一〇一トン)はハンブルグアメリカ航路の客船として一九一三年就航活躍をしてゐたが、大戰勃發と同時に航行中英國海軍に拿捕された。大戰後賠償船として英國政府に引渡され、爾後引續き同政府によつて保管されてゐたのであつたが、一九三八年十月、解體入札の爲キュナードラインに拂下げられ、一九三九年二月解體に着手し、約二ケ年後完了する豫定で目下盛んに解體作業が行はれてゐる。また同じく

獨商 船ファーテルランド號(四八、九四三トン)は一九一三年進水、一九一四年ハンブルグニューヨークラインの客船として就航したが本國參戰の折、丁度ニューヨーク港に碇泊中だつたので、直ちに米國政府に拿捕沒收されてしまつた。大戰後は賠償船として米國の所有に歸し、續いて政府はUSラインに拂下げた、その後一九三七年解體商に賣却されこれも目下解體作業を急いでゐる。それから五六、五九九トンの獨商船ビスマルク號は一九一四年進水したのであつたが、大戰の爲工事中止一九二一年竣工してから賠償船として英國政府に引渡され

海軍 志願兵練習船として使用されてゐる、極東方面では、支那の參戰が遅れて相當長期に互り中立を標榜してゐたため、同盟國側の商船は、聯合國側海軍の封鎖網をくゞつて、上海へ上海へと逃げ込んだ。オーストリア商船シレジャ(約七千トン)とボヘミヤ(約四千トン)などは上海に逃げ込んだまゝ港外に出られず、大戰中ずつと碇泊し續け、大戰後は他の拿捕商船同樣賠償船として聯合國側に渡されたが何しろ乘組員が全部下船歸國してから數名の番人を置いたよゝ四年もの長期に互つて碇泊してたので、船體は若や塵にまみれ全見る影もなかつたといふ

油斷出來ぬ子供の異物嚥下

殆んどが親の不注意

異物誤嚥症といつて、錢、ボタン、ビールやサイダービンのキャップなどを呑む例はこどもに多く見受けるところですがこの異物嚥下もたいして大きいものでない限り胃腸を通過して排泄されますがあやまつて氣管枝に入つた場合は氣管をふさがれて窒息し、小さいものは肺にいたつて肺臟瘍のやうなものを起して來ます誤嚥の

原因 は食事中に與齒のない子にかたい豆を與へたとか、また食べてる最中に大笑ひするとか突然びつくりさせられて食べものを氣管に吸ひこんだとかいつた不注意に基くものが非常に多い、しかし齒醫者が治療中にあやまつて抜いた齒だとか義齒をのどに落すといふ、自分以外のものによつて行はれる場合もあります、子供に多いものは喰べもの以外のものの

誤嚥 で、おかねをのみこむのは可成り多い、アメリカでは安全はりを誤嚥した例が多い日本では大工が釘を口にふくんで仕事をしますが、あれは子供がまねしては非常に危險です氣管枝異物の種類から云ふと落花生、固い菓子の類、釘、鋲、卵のカラ等です、食道異物としては錢、安全針、その他釦、小さい玩具、桃・梅等の果物も相當あります、これに對しては今までどういふ

治療 を施してゐたか　普通は指を口中に入れて取りますが、指はむしろ押し込む場合が多く、非常に危險です、また天井につるし逆さになつたところを背中をたゝいて出す手も用ひられますが、之はあまり効果がありません、又鼻中をくすぐつてくしやみをさせ一緒に出てまぬかれる場合もあり、さらに食道の場合は咽喉に油をそゝいで流し込む場合もあり下劑、嘔吐劑をかける場合などいろいろあるが、安全針のやうなものを呑んだ場合下劑では反つて食道壁などつきやぶる實例もあつて危險です、誤嚥でもつとも危險なのは氣管枝の場合でこれでは一刻も猶豫がならない。また食道につかへたとき等は絶對に安靜にして

醫師 を招きます、何故に安靜にしなくてはいけないかと云ふに興奮のため食道からかへつて氣管へ異物が迷入する虞れがあるからです、この點は是非御記憶して戴きたいと思ひます

濕氣で戶障子が開閉しにくい時

雨續きの濕氣から板戶、硝子戶等の開閉か不自由になりましたら、ワックスなら上等ですが、蜜蠟で結構ですからこれを土瓶又は鍋に入れて火にかけます、熔けたらこの量の三倍位のテレピン油を混ぜてクリーム狀にし、ブラシで敷居の溝や建具の足に十分塗り布で輕く掃き取ります。普通の蠟燭を擦りつけたのでは見た目も不體裁ですが、このやうに液化させて塗れば却々とれません仕上げもきれいです注意としては鍋を入れた鍋を火にかける時、焰か鍋の上の方まで來るやうに加熱すると引火する虞れかありますから弱火にする事か肝腰です。

健康相談

お灸で治るか?

(問) 過日は御多忙中を御親切にも御詳細に御教示下さいまして有難うございました。不節制に依つての喇叭管炎は自然に治癒するものでは無いと仰有いますのは開腹手術以外の治療法では駄目と云ふ意味なのでございませうか、私は一昨年の手術後人様より酷く衰弱致しまして仲々恢復致しませんでしたから手術は致し度無いのでございます。良くお灸で喇叭管が兩方共塞つていたのを通じさせたと云ふ體驗記事を見る事がございますが實際に通じる樣になるものでせうか、又此の頃あこま超短波快癒機が諸症に良いと聞きます。私の様に塞つているのを通じさせる事が出來るものでせうかお灸とあこま超短波放射療法と何が效果的でございませうか御教へ下さいませ伏して御願ひ致します(子寶求女)

(答) 理窟は抜きにして此前說明した通り一度れんとげん寫眞を撮つて喇叭管が開通して居るか否かを確めなさい若し萬一閉塞して居る樣でしたら手術による外は治癒しません、お灸や超短波治療器で喇叭管閉塞症は絶對に治癒する筈はありません(回答者新京特別市立保健所產婦人科長醫學博士 成松淸品)

本當の妊娠か?

(問) 御多忙中甚だ中兼ねますが左の事をお教へ下さいませんでせうか。私事高年の產婦でございますが、昨年の春に分娩致しましたのでございますが、つわりは皆其月の月經がなくて後二十日程經ちますとそろ〱ツワリが始まつておりましたが、今度先月から二ケ月すぎて十五日になりますがほんの少し極輕く、殊んど解らん位でございますが、本當の妊娠か否や自分ではどうしても本當のものとは思へないのでございますが、ツワリと言ふものはお產の樣に前と一樣にないものでございますか、或は今までと一樣にあるものでございませうか、婦人は何才位まで妊娠するものでございませうか、甚だ相濟みませんがとうぞ宜しくお教へ下さいませ(一婦人)

(答) ツワリは前回と同樣と云ふ事はありません。前回にツワリが酷つたからとて此度又酷とも限りません、又前回輕かつたからとて此度も輕いとは云はれません、婦人は月經がある間は妊娠可能です、但し產後の授乳性無月經中も妊娠可です(回答者新京特別市立保健所產婦人科部長醫學博士 成松淸品)

學童の保健と榮養の問題

體位向上へ期待

眞に第二國民たる小學校の學童はいやが上にも強く育て上げなければならない。ところで今の學童は見かけは大きく立派になつた。二十年前に比べて身長で三センチ、體重で一キロも增して居るが骨のか細い。持久力のない學童であるモヤシのやうにヒョロ〱とした子供、少年を多く見るではないか。然し事實今の都會生活では或る程度まで止むを得ない

榮養 的に不利な生活を餘儀なくされて居るのだから、勢ひ榮養劑を補ふ必要があるのである。學童に偏食は極く悪い。兩親本位の獻立でなく、又我儘から好き嫌ひをこしらへないやうにして、個人の偏食、家庭の偏食を達正すべきである。學童の爲めの榮養劑に就いて特に一言すると目下の所榮養劑は實に種々あつて、肝油劑酵母劑、カルシウム劑等實に多數で肝油にしたところが選擇に苦しむ程澤山ある殊に校醫は大切なる學童保健上の相談相手であり、指導の立場にあるので充分に認識して欲しいのである。ところで事實は校醫が一の肝油に就いてさへ認識不足の方が多い。肝油の成分中、何が効くかに就いて

脂肪 が效くと考へたり、肝油の毒性を云々したりして居る。脂肪の價値からいへば植物性の脂肪の方が優れて居ることも判つて居り、肝油の效くのは主としてヴイタミンであることも判然として來た。また肝油の毒性も高度不飽和酸の存在と判つて既にこれを除去する方法も成功して居る。また肝油中のヴイタミンの含量も、品物の種類によつて百倍、五百倍、千倍もの差のあるのがある。從つて如何なる種類の肝油が優れて居るかも平素から研究されて置いて

充分 學校當局や家庭の質問に應ずるやうにして欲しいと思ふのである。今の學童位幸福な者はない。公の費用で伊勢參宮が出來たり、夏は海岸なり、山なりで適當の施設の下に勉强や鍛錬が出來たりする優良兒の表彰が行はれたりする。然しそんな企てをしなければならない程體位の低下したことを考へると、氣の毒にも思はれ、お互が一生懸命にならなければならないと思ふのである。我々は各家庭、父兄會、學校當局と校醫とが連絡をとつて眞に學童の疾病を豫防し、健康を保持し、體位を向上させるやうに一般の努力を希望する次第である。

けふの番組

七日(土曜日)〔M・T・C・Y 新京放送局〕

朝

七、〇〇(新京)建國體操
七、一八(大連)入港船のお知らせ
七、二〇(新京)ニュース
七、三〇(大連)中等滿洲語講座
七、五五(大連)朝の音樂 秩父固太郎(レコード)
管絃樂—エリック・コーツの作品より— ライトシセホニー管絃團 指揮 コーツ
一、組曲「森の精」より「小さなワルツ」
二、組曲「三人の男」 一、田舍から來た男 二、町から來た男 三、海から來た男
八、二〇(新京)氣象通報
八、五〇(新京)建國體操
九、〇五(東京)經濟市況
九、三〇(東京)經濟市況
一〇、〇〇(大・新)經濟市況
一〇、〇五(大連)幼兒の時間
一〇、二〇(大連)家庭の時間 ウタアソビ(レコード)
一〇、四五(奉天)家庭メモ 低溫生活と保健 小松雄吉
一〇、五〇(奉天)料理獻立
一一、三五(大連)經濟市況
一一、四〇(東京)經濟市況
一一、五九(東京)時報

晝

〇、〇一(大連)晝の演藝 組唄 大連文化謠會社中 一、御稜威を仰ぎて 二、御旗は輝く
〇、二〇(大連)歌謠曲(講談社提供キングレコード) 一、男のいのち 筑波高 二、北滿の花嫁だより 横山郁子
〇、三〇(東・新)ニュース
一、〇〇(大・新)經濟市況
三、二九(新京)國內アナウンス 北米西部向海外放送
三、三〇(新京)アナウンス 一、ギター獨奏 二、インスブルック行進曲 スカルスキー 二、ナロルの思出 三、嬉遊曲 四、ステファニのガボット 五、ドイツ民謠
四、〇〇(東・新)ニュース (新京)氣象通報
五、二〇(奉天)ニュース「鮮語」(奉天)演藝「鮮語」

夜

六、〇〇(東京)子供の時間 世界各國の陸海空軍(二) 倉田秋次
六、二〇(東京)コドモの新聞 櫻木新吾
六、二五(哈爾濱)初等ロシア語講座
七、〇〇(東・新)ニュース (新京)告知事項・今晩の番組
七、三〇(新京)講演 第六回協和會全國聯合協議會に出席して 朴根植
七、四〇(東京)座談會 職場に厚生しつゝある傷病軍人の體驗を語る 司會者 東京職業紹介所長 糸井謹次 川上文太郎 佐藤武志 森茂生
八、一〇(新京)ソプラノ獨奏 =新京滿鐵社員倶樂部より中繼= 三浦環 一、歌劇「椿姬」より ヴェルディ作曲 その他
八、三〇(哈爾濱)長唄 紀文大盡 唄 民一寵若 同 一とみ 三味線 杵屋勝壽也 同 照次
九、〇〇(東京)講談 秋空晴れたり 田村西男・作 一龍齋貞文
九、二八(東京)十分間演藝(一) ほがらか日記 早起勵行の巻 乾信一郎・作 おぢいさん 加藤精一 静枝さん 山縣直代 昭ちおん 林文夫
九、三九(東京)時報・ニュース・ニュース解說 (新京)ニュース・氣象通報・告知事項・明日の番組
一〇、三〇(新京)今日のニュース
一〇、四〇(哈爾濱)北滿の時間(露語)

學藝 青

日出 (四十一)

曹禺 作
大内隆雄 譯

胡 (ゆつくりと、ズボンを引き上げ、服にさはり、また例の、氣の乘らぬ風をし顧八奶々に向つて) さあ、僕はもう來た時からお腹が空いてゐた!

顧 (ぢろりと見) そんならさう仰言つたらいゝのに! 早くいらつしやい! (トントンと歩み出す。)

胡 (彼女をじろりと見、またゆつくりと) そうれ自分が!

露 (もう左の扉の所に行つてゐる、胡四がまだ元の所にゐるのを振り向いて見る。そこで手を伸ばし笑つて言ふ) 早くいらつしやいよ、胡四さん……

胡 (白眼をひつくりかへし勝利者の如くに) チエッ! (胡はゆつくりと左の扉に入つて行く、白露の方を見ニタ〳〵と笑ふ。)

露 (あたりを見廻し) おや達生さんは? (振り向き、李太々が背後にゐるのを見付け) おや、李太々、あなた何かおあがりにならない?……あ、ぢや、どうぞ、いらして頂戴。

(李太々登場。ひどく痩せた女である、擧措は靜かである、衣服は余り華麗でない、おだやかな顏色、しかし憂はしげである、薄く白粉をつけてゐる、殆んど化粧してゐないやうに見える此處に來るのに無理をしてやつて來てゐるらしい、遠慮深く、自在さを失つて白露と話す。)

露 (おとなしく) あなた李さんを探してゐらつしやるの?

李太太 さうでございます、陳小姐。

露 (ベルを押す) あなた方お二人はほんとにお仲が好いのね、一寸の間も離れないで。私ほんとに羨しいわ

(福升登場)

露 福升、お前さん、李さんを呼んでいらつしやい、奥さん御用事があるの。

福 はい。

露 あの、方さんはお出掛け?

福 いゝえ、私見掛けませんでしたが。

露 ぢや好いわ。

(福升退場)

露 李太太、一寸待つて頂戴な、私少し用がありますから。(右の戸から入る) 達生さん! 達生さん!

(小娘が白露の寢室から出て來る。彼女はもう十二時間前とは大分變つた格好をしてゐる。彼女は白露の紫の薔薇模様のついた古い服を着てゐる、まだその服は大きい、一眼で彼女自身のものでないと知れる。黒い髮を垂らしてゐる、白い顏に二つ大きな頬紅をつけてゐる、眼玉は金魚のそれのやうに飛び出してゐる、半ばはこの數日余りに泣いたがためであり、半ばは周圍の珍らしさが彼女をまごつかせてゐるからである。彼女は白露と李太々を見、だまつてゐる、まるで色塗りの人形が立つてゐるかの如くである)

露 方さんは部屋にゐらして?

小娘 方さんですか?

露 さつきあんたと話してゐた方よ。

小娘 あの方、ゐらつしゃいません!

露 あの人また逃げ出したのね。(急に小娘に向ひ) あゝ、誰があの人を追ひ出したんだらう?

小娘 (びくりして) 私、私あなたがお呼びになつたので出て來たのよ。

露 (笑つて彼女に尋ねる) ぢや、あんたもうゆうべのあの人たちのこと忘れたの?

小娘 (忽ち駈け戻り) えゝ

露 こちらへいらつしやい。(小娘は引き返す) 部屋に通り抜け出來る窓があるでせう、あそこよくしめとくのよ、あんた判つて?

小娘 えゝ、えゝ。(駈け戻る) (李石清、中央の扉から登場)

露 一寸お待ち、一寸こちらにおいで! (小娘またやつて來る。彼女はハンカチで頬紅を拭いてやる、情深く笑つて) さああつち! (小娘、又右の部屋に入る。白露、こちらを向き) ぢや、李さん、いらつしやい! 奥さんが探してゐらしたのよ、本當にお仲が好いわね!

李 (笑つて) あなたは御存知ないんです、陳小姐、私達はそりやもう古い夫婦ですよ、私の所の奥さんは一時間と私が何か言つてやらないと不承知でしてね。

露 本當なの? ぢやあ此處でこゝろゆくまでお話しなさいな、私お邪魔はしないことよ。

(白露、左の扉から退場)

創作 幼友達 (二)

錦波

毎日通學の電車に弘子を見て何とも云へない安堵を覺えこつそりと二人で見交して眼と眼での挨拶がとても嬉しい事であつた。

他の男友達から何彼と云はれるのがお互に嫌であつたので知らぬ顏はしてゐたけれど此の一年近くの間は一日でも電車の時間が違つて見ないやうな事があるとその日一日中心配であつた。

それは戀愛と云ふものだらうかいや少くとも今の二人には友情しか幼友達の域だと自分勝手に考へても見たけれどこれがその戀愛なのかも知れないと最近の正男の心には異性としての弘子が存在しはじめたのであつた。

今日時間が早く恰度その電車には弘子と正男とだけで嫌な友達がゐないのでこつそり裏山に登らうと約束して來たのであつた。

「弘ちやん！僕だつて淋しいさ……」

振り返つた弘子の瞳は涙で一ぱいであつた。

感じ易い乙女の心少年の心であつた。

不純な氣持など微塵もない清淨な涙と涙であつた。

「僕も考へるよ弘ちやんだつて考へて吳れよ」

二人の影はやがて灯りはじめた漁村の灯を後に入陽の餘光で黒ずんで風のない丘から下りはじめた。

その翌日朝の電車で正男はこつそり弘子に走書した紙片を渡した。

晝食の時間に弘子は友達を避けてもう間もなく別れなければならない思ひ出のポプラの下に來た。

何も彼も夢のやうに過ぎ將來の事も又夢である。

入學祝に正男から貰つたもう少し古びたペンを喜んで始めて使つて見たのは矢張りこのポプラの下であつた。

ペン先のもう割れて筆で書いた字のやうにそのペンは古かつたけれど彼女は有頂天になつて喜んだ。

さうして岸正男の三字を三十も四十も並べて書いて頰がほの紅くなつて破り捨てたのもこのポプラの下であつた。

遠く離れて五六人のグループが「螢の光」を唄つてゐたがそれが笑聲に變ると弘子は狼狽てゝ今朝正男から受取つて下着のポケットに隱して置いた四角に疊んだ紙片を出した。

慄へる手で開いてそつと四方を見たが誰もゐないので急いで太い男文字の走書を讀んだ。

また昨日の所で三時四十分電車

と書いてあつた

讀み終るとすぐに小さく千切り柔み一むらの萠え出たばかりの草の根に埋めた。

ぞく〳〵と胸が慄へ頰がほてつて來るとポプラの幹が朧に霞み遠く離れたグループの人影が消えた、

惡事でもした時のやうに恐しいやうなそれでゐて待つてゐた事が遂に來たやうな言ひ知れない氣持でゐた。

「まあ島田さんつたら何を呆然考へてんのよ」

ぎくりとして肩を叩かれた手を振り切つた。

「…………」

「まあ恐い」

五人は何か言ひ乍ら走つて校舍の方に去つたけれど弘子の胸の動悸はなか〳〵止まらかつた。

眼から知らず〳〵の間に涙が譯もなく出てポプラの幹に脊を凭れハンカチーフでそつと拭いた。

でも次から次に云ひ知れぬ涙が未だ味はつた事のない涙が湧いた。

「弘つぺ！弘つぺ！」

「チイ公！」

「何だい泣いたりして」

「うゝん何でもないのよお馬鹿さんね妾！」

「弘つぺ！妾にだけは何でも話すつて約束だつたわね。二人の間には隱しつこないつて約束を忘れないわね。」

無二の親友の垣山千惠であるけれど今の氣持はどうしても話せなかつた。

心配して吳れる千惠の氣持に弘子の心は又崩れるのを全身の力で漸く支へることが出來た。

「隱しつこないことよ、お互に二人の秘密は守るし嬉しい事だつて悲しい事だつて二人が分けるつて約束よ、もう螢の光もすぐなのに水臭い事は妾絶對嫌ひよ何でもないわよだめ〳〵隱したつてその笑顏何日もの弘つぺの笑顏ぢやないことよね弘つぺ！」

千惠もおろ〳〵聲になつてゐた。

「弘つぺ！水臭いわ！」

さう云つて弘子の手を取り乍ら千惠は涙を落してしまつた。

抱き合つた二人の肩と肩とが嗚咽の爲に觸れ合ひまだ薄ら寒い風が二人を包んだ。

「弘つぺ！云つてよ」

「…………」

「弘つぺ！お願ひよ、もう一週間もないのよ、二人のお交際も。」

「チイ公、妾が悪かつたわ話すわ……でも誰にも云つちやいや！」

「絶對秘密よ」

弘子は一切を何も忘れて千惠に話した。

理智的な千惠の眼が弘子の身を憂ひ友の爲に燃えてゐた。

校舍のすぐ前のバレーコートに白い球が躍つて殘り少い女學生々活を惜しみ乍ら動く影が雲間漏る陽に鈍く映えてゐる。

「弘つぺ！もう五分よ行こうよ」

「ん」

「結局さうするのね、何も二人で約束してる譯ぢやないんだもの、それは岸さんだつて前からの希望だもの、大いに滿洲で働いてそれからお迎へに來て貰つたたつて遲くはないと思ふわ。」

「さうねでも……」

「妾だつたらさうして五年でも十年でも待つてるわ、それに何も深い事を考へる必要のあるものではないんだものまだそんな事早くつてよ、貴女少し深く考へ過ぎてゝよ、丸でもうお嫁さんに行く約束でもしてるみたいに何だ彼だと言つて向ふでそんな氣持でゐるかどうか分りもしないのに」

「さうね」

「妾にも慾しいなあ、そんないい人が……オホ……」

「意地惡！チイ公の意地惡！」

二月の重い空にサイレンが浸み込むやうに響くとポプラの葉のない梢が乙女達の心のやうに小さく波のやうに搖れた。

書架 青

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し(係)

△コトバ (十月創刊號) 三宅武郎、長谷川松治、菊澤季生、今泉忠義、松原秀治、大西雅雄、石黒修諸氏が「日本語の語法と語法教授」について書いてゐる (東京市牛込區若宮町一六國語文化研究所、三十五錢)

△精軍 (九月七日號) (治安部調査課)

爆撃機 青

變つた描寫

高見順 「往生際」 (『日本評論』十月號)

作者はこゝで一風變つた作品を見せてゐる。淺草界隈の物語で、ぐうたらな男と女とが出て來る筋なのだが、單純な人間描寫、心理描寫でなく、手法に面白さがあるのである。彼の例の説話體の一つの發展を示すものであらう。

こゝには思想などはない、しかし生きた人間はゐる。これが見落されてはならぬであらう。

『文藝』に連載してゐるものなどは一寸息切れしてゐるやうだが、この作あたりでは手頃なまとまりに至つてゐると思へる。

(御垣衛士)

學藝消息

△新京あかしや會例會 十月七日(土)午後六時半、ダイヤ街屋芳亭グリルで開催詠草一首當日持寄り、短歌愛好者はこぞつて、參加ありたしと

家庭医学

姙婦と榮養

★榮養改善によつて 死産の無くなつた部落

姙娠中の攝生法については、從來多くの人々によつて說かれてゐますが、特に重大なのは榮養の問題で、これが適當に行はれないために母體の衰弱を招き、流早産を起した樣な例も決して少なくありません。

ある部落では、死産村と云はれる程、流早産が多かつたのが、その後三ケ年計畫による

―榮養改善の結果―

遂に死産を零とし、一年以内の乳兒死亡も著しく減少して、從來の不評を一掃したと云ひます。いかに姙婦にとつて榮養上の注意が大切であるかはこれによつても判りませう。

では姙婦にとつて、特にどんな榮養素が大切かと云ひますと、まづビタミンと無機質はその兩大關と云へます。

動物實驗によると、ビタミンBの攝取を禁ずると絶對に姙娠しませんし、また面白い事には、印度で、北部の婦人は死産や早産が非常に少なく、これに反して南部の者はその三倍にも上つてゐると云ひますが、その原因は、北部の婦人はビタミンBやCE等の豐富な

―青物や小麥等を―

食してゐるからで、反對に南部では之等が非常に缺乏してゐるため、母體の榮養が損はれ、特に新陳代謝が低下して胎兒の發育を妨げるといふのが、最大の原因です。

次に無機質ですが、これは御承知の樣に胎兒の骨格や齒牙を造る爲に必要な成分で、特にカルシウムと燐、鐵は關係の深いものであります。從つてこれが不足すると骨格の發育が不充分で流産を起し易く、また折角生れても子供は大抵虛弱體質です。

ですから一度でも早産、流産の好ましからぬ經驗のある方は勿論姙娠中の方は、特にビタミンBや無機質の攝取に心掛くべきですが、その方法としては、ビタミン劑、或ひは一二の無機榮養素を補給するに止まる單一榮養劑を選ぶよりも若素(わかもと)の如き、衰へた胃腸を強め、而も之等の榮養素をも綜合的に含有する藥劑を選ぶ方が遙に賢明であります。

即ち若素(わかもと)中には、含有量に於いて生物中第一の稱あるビタミンBをはじめ、ABEの各種ビタミンや、燐、鐵、カルシウム等の無機榮養素、リヂン、ヒスチヂン等の發育保進素、胃腸の機能を強め、消化吸收を活潑にする酵素、ホルモン性物質等が綜合的に含有されてゐます。そして之等の榮養素の綜合効果になる

―細胞賦活作用―

は、衰弱細胞を賦活強化して、胃腸その他全身機能を彊壯化しますので各方面からの効果が相俟つて母體は健康をとり戻して、胎兒の發育を良くし、丈夫な子を安産出來るやうになります。●

疲勞の防止法

我々が心身を働かすと疲れるのは何故でせうか――。以前は筋肉や血液中の糖分が新陳代謝の昂進につれて旺に消費され、諸器官の動力に不足を來すから、故に糖分さへ補給すれば疲勞が恢復するものと思はれてゐたが、最近、糖分が利用されるためにはビタミンBが絶對に必要なことが解つたので、疲勞を防ぐにも糖分の他にビタミンBを補給せねばならぬことが知れました。若素(わかもと)を服むと、この大切なビタミンBが豐富に補給されるのみならず、人體內で直に糖分に變化するグリコーゲンや、各種の榮養素を含んでゐますので活動力の増進や疲勞防止に著るしく効果があります。

お母樣への御注意

小兒の結核を早期に發見する法

子供の結核は、大人のそれほど注意されてゐない樣ですが、實際は抵抗力が弱いだけに病勢も進みがちで、殊に肋膜や腦を冒されて死亡する子供は少なくありません。その上、大人の場合は病氣を自分で診斷することも出來ますが、子供は自分の氣のつかぬことが多いので一層危險性があります。●

結核に罹つた子供は××微熱××を持つてゐる事が多いのですが、微熱があるからと云つて必ず結核とは限りません。ある場合には熱を伴はぬこともあるし、また發熱の狀態も、肺浸潤、結核性腦膜炎などでは急に高熱を出すことがあり、また平熱、微熱をくり返してゐる樣なこともあります。しかしお子樣の健康に注意深い母親ならばふだんお子樣の平常體溫を知つてゐて、定期的に檢溫し、もし普通以上は熱がある場合は何か異常があると考へるべきです。

次に動作が著しく不活潑になることです。一體健康な子供は身體の疲勞を知らないもので、一日中よく遊び、夜はすぐ眠るといふのが健康兒の常ですが、それが夕方近くなるとボンヤリ家に歸つて來てゴロリと横になつてしまふ。かういふ狀態も結核の初期症狀の一つとみることが出來ます

結核に罹つた子供は、また××食事××が進まず、顏色も惡くなつてきます。たとへ海水浴などで黒く焦げてきても、皮膚に艶がなく、浮かぬ顏色をしてゐるなどは充分注意を要します。その他、夜寢つきの惡いとか、眠り際にしつとりと汗をかく盜汗なども有力な初期症狀と云へます。●

斯樣なお子樣の健康をとり戻し結核の發病に備へるには、どんな注意が必要かと云ひますと、生活を規則的に改善する、よい空氣に浴し、安靜を得させることも勿論大切ですが、根本的な方法としては、體內の榮養を良くして、體質そのものを强化し、病菌に對する抵抗力を養ふことが肝要です。この意味から若素(わかもと)は、胃腸を強め榮養を充實して、自然治癒力を増強する効果が著るしいので最も好適の藥劑です。即ち十數種の活性酵素や豐富なビタミンB、ホルモン性物質等は胃腸の衰弱細胞に賦活して、消化吸收を活潑にして榮養を充實させますが、更に××結核××の勢力を挫くリパーゼ、溶素を解消するグルタチオン、增血作用ある成分等が綜合されてゐますので、お子樣の結核の勢力は驅逐されて、安眠も出來、次第に血色をとり戻し、體重も増加すると云つた風に、結核に冒されぬ丈夫な體質にすることができます。

この若素(わかもと)は東京市芝公園大門わかもと本舖榮養と育兒の會(振替東京一七〇〇番)から三百錠入、千錠入、粉末九〇瓦入、二七〇瓦入等が一日分僅々五六錢、小兒には二三錢の廉價で發賣されてゐます。尚滿洲、中華民國の各地藥店でも取次ぎ販賣して居ります。●

實話

惡阻の藥で 乳兒の消化不良も輕快

(北海道虻田郡豐浦村) 玉井みよ子

私の長男は生れた時には目方が一貫匁もあり、皆樣にも羨まれる程でございましたが、生後六ケ月目に次の長女を姙娠いたしました爲授乳不足となり、色々な物を與へる事になりましたので、すつかり胃腸を壞して了ひました。夫は夫で『お前が不規則に乳を與へたからだ』と言つて、毎日々々

不機嫌な顏ばかり

して居りますので、本當に生きた心地もなく二ケ月程は子供と一緒に泣いて暮しました。

或る日、不圖この子供を姙娠中ひどい惡阻で苦しんで居りました時に、實家から『錠劑わかもと』を貰つて服用し、大變工合のよかつたのを思ひ出しまして、早速近所の藥店から買ひ求め、適當に碎いて服ませ始めました。自分も姙娠中でしたので、子供に服ませる度に服用する事に致しました。するといつの間にか心配した子供の胃腸も整つて參り、自分も亦、この前の姙娠中の樣な惡阻のないのに氣付きました。それから、すつかり『錠劑わかもと』の有難さを知り、ずつと愛用し續けました。お蔭で長女のお産は實に輕く、目方も八百六十匁ございました。只今、長男六歳、長女は五歳ですが、二人とも御目にかけたい程元氣でございます。●

會費滯納問題に終止符
喧嘩は止めにしてよく懇談しやう
十日商工公會、三業組合會見

新京商工公會創立以來の癌として持て餘した三業組合及び飲食店組合等の會費滯納問題は一年有半に亘り紛糾を重ねて尚ほ今日未解決のまゝ殘されてゐる。滯納者四百五十名、滯納金八千百五十一圓三十錢と言ふ實情にあるが、この會費の徴收を依託された市公署では愈よ最後の斷案を下すことゝなり來る十日各業者代表を招集懇談の上業者の反省を促すことゝなつた、果して圓滿解決を見るか、滯納處分の强制手段に訴へるか成行は頗る注目されてゐるが、いづれにしても懸案の問題は右するか左するかのドタン場に追ひつめられて來た、三業組合及び飲食店組合員等の商工公會費滯納問題の根本は勿論各業者が商工公會々員として入會を拒絶してゐることにある、而してその理由とするところは

一、商工公會は業者に對し何等直接の恩惠を與へるものでない

二、會費は法人に對し營業税の五分となつてゐるが、業者に一割となつてゐることは不當である

三、商工會議所時代に於て入會を申込んだにも拘らずこれを拒絶したではないかと言ふにあり、尚入會の際は業者から役員を選出せしめよとの希望條件も入會拒絶の裏面的理由となつてゐる、然し會の加入に對しては商工公會法の定める法律によつて決定されてゐるもので業者がこれを拒絶することは國家の法律を無視することで斷じて許されぬものである、必然會費は納入する義務があり、その滯納については市に於て市税滯納と同樣强制徴收の執行を規定されてゐる、これが圓滿解決のためには商工公會、市當局は戸別的勸誘に或は懇談にと善處し、亦業者側に於てもこの法文を充分のみこみながら尚ほ滯納の强硬態度を持續頑張り續けて空しく今日に至つたことは甚だ奇異の感を抱かせるものである、傳へられる所によるとその裏面には兩者の感情の對立によるとも言はれてゐるのであつて、延いてはこれを氷解せしめなかつた當局の誠意をも疑はれてゐるのである、ともあれその如何を問はず十日の會見は最後の斷を下し長い抗爭の黑白に終止符を打つことであらう

市實業科長談

商工公會費滯納問題について十日業者と懇談最後の斷案を下さんとする市公署世實業科長は語る

三業組合業者の商工公會費滯納問題については今一度業者と懇談諒解を求め圓滿解決したいと思つてゐる、業者の拒絶する理由は直接恩惠を蒙らぬと言ふが、國都の商工業界の發展は延いて業者の繁榮であり間接的には恩惠を受けるものであらう、税率の問題についても今日尚同業組合法が制定されてゐないため法人として認めることが出來難いのでこの點今如何とも成し難いことだ、役員を業者からも選出せしめよとの希望條件もあるとのことであるが、これも今後の問題でありかゝることに入會を拒絶滯納することは餘りに狹量ではなからうか、いづれにせよ强制的にも加入すべき義務があるものであるから胸襟を開いて話合へば諒解されることゝ思ふ、たゞ國家行政を理解せず反對し會費は收めんでもよいと言ふ觀念は絶對に排撃せねばならぬ決裂した萬一の場合には上司の決裁により適當の處置を採る

秋風截る遊覽バス
全聯代表市内見物の巻

全聯に出席のため滯京中の各省代表は去る卅日以來連日連夜に亘る盛澤山な協議に忙殺されてゐたが、六日は午後二時で日程が打ち切られ散會となつたので一週間ぶりでほつと一息といふところ、重苦しい會議から解放された各代表の顏には思ひなしか晴々しいものが漲つてゐる、この日代表中七十二名（日人廿二名）の一行は三臺の遊覽バスに分乘して秋晴れの國都市内見物と洒落込んだ、午後三時驛前を振出しに中央通りを經て先づ新京神社、忠靈塔に參拜、爽かな秋風をきつて進むバスの中では案内のサービスガールの説明に聽き惚れる日滿鮮蒙の各代表の間に屈托のない談笑の花が咲き、流石に御本家だけあつて日頃御提唱の民族協和を地で行くといつた具合だ、そして麗かな陽光が一行をバスぐるみに包んでゐる宮廷前で一同下車最敬禮のゝち、簇立する大建築物や市中の空氣に躍如たる國都の發展を感じつゝ大同大街を經て南嶺建國廟敷地に至りそれより南湖々畔を通つて安民大路より中央法衙を右に、滿映新スタヂオを左に見つゝ交通部、司法部、經濟部、治安部前を通りドイツ、イタリー兩公使館、宮廷府前を通りて興安大路を左に折れ、何れも濃き野外に出て衞生技術廠を見學して寶山百貨店前に出て店内を一巡して同店のスピード市内見物を終了して和氣靄々裡に散會した【寫眞は忠靈塔參拜】

李香蘭も一役
花ある馬術大會
兒玉公園で來る十五日開催

馬肥ゆる爽涼の深秋、大滿洲帝國馬術協會主催、第三回全滿馬術大會は十五日午前八時三十分から新京兒玉公園に於て擧行される、榮の大會に出場する駿馬日本産六十頭、滿洲産三十頭、合せて九十頭、競技參加團體は新京二十二團體、鞍山、撫順、奉天、哈爾濱等二十六團體、合せて四十八團體といふ豪華版であるしかして競走は團體對抗大障碍、小障碍、速歩リレー、球送りリレー、ボロ競技、個人競技假裝競走、豚追競走、飛越回用競走、數競走等に妙技を展開する筈であるが、今競技は世界的馬術の大家遊佐幸平少將を馬政局長に迎へて最初の大會であり出場選手の意氣正に天を衝くの概がある更に本大會には日本陸軍部内でその名聲を謳はれてゐる今村部隊長の純馬術、中尾大尉の高障碍飛越は錦上華を添へるものであり、滿映李香蘭をはじめ八名の女優連が試乘することは觀衆の拍手を浴びるであらう

血染の陣中記に燃ゆる憂國の念
ビンバー大尉手記

ビンバー大尉がソ聯脱走後日々その心境を記した陣中ノートが鮮血にまみれたポケットより發見されたがその一部に次の如き祖國外蒙を赤魔の彈壓より救はんとする烈々燃ゆる憂國の念を記したものがある

一、自分が日々思ひ苦しんでゐることがある、その一つは德望智識を兼備せるゲンドン元總理、デミット元陸軍大臣、ダリジヤツブ元陸軍次長、サンボウ元外務大臣、マルジー元參謀總長、ダンバー元第二軍團長等幾千百の人々が我が小さき外蒙古をソ聯より脱せしめ蒙古帝國を再現せしめんとしてゐる途次はかなく赤魔の手によつて慘殺されて失つたことである、これ等の人々は既に此の世になく、若くして世を去つた我々の同志將校、兵士、ラマ僧たちの英靈はゲンドンの靈側に臥してゐるに違ひない、私は此の倒れた知己を思ひ出して苦しむ

二、民族の敵赤き走狗チヨイバルサン一派の內防處員の壓迫に堪へかねて公職を捨て財を失ひ、父を失ひ、夫と別れて野に彷徨ふ多くの同志の遺族妻子、兩親、兄弟を思ふとき又ビンバーの苦悶が增して來る

三、考へてはならない事ではあるが私自身についても母親妻子兄弟を思ひ出す、弟チヨロンバタは十一歲になつてゐる筈だ、タムスク第一六師團の弟の樣な兵士たちはどうしてゐるか

四、私はこれ等先輩同志の死に報いるため早く所期の目的を貫徹せしめ樣と日々焦慮してゐる、如何なる方法により革命と闘爭し外蒙古を赤魔より救ふべきか、同じ黑髮の同じ血潮の日本人あるのみ

五、私は希望叶つて戰線に立つことが出來た、而し滿洲國に來て孤獨の中に病氣になつた時しばしば良き醫者をわづらはし私を激勵し、私に新しい希望を與へ私を指導し、私を尊重して呉れた日本の慈父の樣な人々や日本の兄アスガンバートルを思ふ時日本の人達は本當に何でもお頼み出來る人々であるを感謝してゐる

六、既にビンバーは戰爭に立つこと數次何時不幸にして我等の外蒙再現を見ずに倒れるかも知れないが、多くの同志を思ふ時ビンバー自身には飽く迄やるべき事がある、ビンバー自身はそれを每日考へ續けてゐる

戰死詳報

ビンバー大尉は五月廿七日第一次ノモンハン事件に從軍したのを初め七月一日第二回目の從軍をなし八月中旬病を得て新京にあり、九月一日三度び從軍ハンダガヤ背後の有力部隊に參加、外蒙兵の捕虜、脱走兵の指導に當り、五日某任務を帶びて○○を出發ノロ高地に向つた、その間同大尉の辛苦は言語に絶するものあり濕地の中を前進すること二日、七日午前四時敵大部隊と遭遇、少數兵力と共に亂戰に陷り奮戰中皮肉と云ふか前面の敵外蒙部隊がはしなくも元自分の居た懷しい第十五、七兩聯隊であるを知り同七時遂を決し他の止めるのも聞かず投降を勸告して來ると砲彈雨飛の中を驅け出し五十米ほど前進した時右足關節に敵彈が命中ドツと倒れた、强氣な大尉はなほも屈せず起き上り、狂氣の如く突き進まんとした刹那敵の集中射擊を受けてその場に昏倒、應急處置も甲斐なく八時十分壯烈限りなき戰死を遂げたものである

遺骨けふ國都着

國境に散つたビンバー大尉遺骨は七日午前十一時四十二分新京驛着のぞみで國都へ塋無き凱旋をする

ホロンバイル草原に初雪
嘗ての戰場白銀化

ホロンバイル草原は五日夕刻急激に氣溫低下し夜に入るや霙まじりの初雪が降りはじめ六日未明に至り平原一帶を白銀化して漸くやんだ、早や歷史的な過去の古戰場となれるノモンハン附近は既に白一色に塗りつぶされかつての慘烈なる戰鬪も夢物語りの感がある

完全な民族的統一の全聯に驚嘆する
ハイランド氏感想談

パン・パシフイツク聯盟發行の機關誌の滿洲特輯號編輯のため外務局との打合せと滿洲視察を兼ね四日午前十一時四十二分着「のぞみ」で來京、ヤマトホテルに滯在中の同聯盟事務長フオン・ハイランド氏が外務局の小濱事務官の案内で六日正午過ぎ全聯特別傍聽席に姿を現したので感想をたゝけば語る

多くの民族が一堂に會して和氣靄々と會議が進められてゐることに驚嘆してゐる

私は長くハワイに住んでゐてよく知つてゐるが、多くの民族が相互の利益を尊重して協調しながらやつて行くといふことは非常に難しいことである、その難しいことがこゝでは實にスムースに行はれてゐる、全聯の機構については詳しく知つてゐないが、全聯が良き成果を擧げるといふこともこの完全な民族的統一といふことが基底をなしてこそ可能なのだ、衆議統裁といふことは眞に議場の空氣が理解されて行はれるならばそれこそデモクラシーの理想にも一致するものだが、一歩誤るならば全く獨裁であるから議長の位置が實に重要なものである、議長の人物や識見が大いに問題になるであらう、私は新京に着いて新京驛から大同廣場へ通ずるメンストリートを自動車で通つて見てこんな立派な道路はロンドンにもパリにもない、建築物は西洋の傳統的な要素の中に東洋的要素が入り混つて滿洲獨自の姿をなしてゐる、澄んだ空と綺麗な街路樹全く清新そのものゝやうな感じがした、完全な民族的統一の上に新京が今後發展の一路を辿るならば世界に類例のない樂土が生れる日も遠いことではないだらう

鐵道一萬キロ突破記念切手發賣

滿洲國に於る敷設鐵道は愈々待望の一萬キロを突破するに至つたので目下滿鐵當局に於て十月廿一日記念式典當日の行事準備中であるが、交通部に於ても我國發展の劃期的事實を廣く一般に宣傳併せてこの事實を永く記念するため、今回美麗な記念切手二錢及び四錢二種類を發行、國內主要都市各郵政局で賣出す他多數買受希望者及び國外よりの便宜を圖り總額十圓以上買入れ希望者に限り之が通信賣捌の制度を實施、新京中央郵政局に於て申込を受付けることゝなつた、尚廿一日式典當日より三日間國內主要都市各郵政局に記念スタンプを設備し二錢以上の葉書及び切手貼付郵便物に限り希望に應じ捺印する筈【寫眞は記念切手とスタンプ】

ニツポン號

【ダカール五日發國通】五日早曉ブラジルのナタールを出發南大西洋橫斷の途についた世界一周機ニツポン號は終始快翔を續け同日午後一時佛領アフリカのダカールに安着した、所要飛行時間は十時間十二分

新京土產 當選品決定

新京觀光協會では豫て募集してゐた「新京土產品」は各地より二百數十點の出陳を得て締切つたが、これが審査會を六日午後三時より滿鐵支社食堂で審査員

槇田市公署財務處長、稻川驛長、杉村滿日文化協會主事、木村ビューロー主任、國都土產品商組合長、觀光協會長谷川常務理事、細川主事、西原副主事等

出席して開催、左の如く當選土產品並に出品者を決定した

一等新京人形（秋之家）二等滿洲菓子（玉名齋）三等孝子飴（美笠屋）佳作哈蟆油（世一堂）名所饅頭（峯長春堂）孝子餅（美笠屋）滿洲漬（萬康醬園）虎骨酒（世一堂）孝子糖（美笠屋）刺繡（泰發合）茶（明記榮莊）

尚品評會は八日より向ふ一週間三中井百貨店で即賣會をも兼ねて行ふ筈である

國境戰の散華 英靈慰靈祭

滿ソ國境戰に赫々たる武勳をたて名譽の戰死を遂げた護國の英靈○○部隊○○柱の慰靈祭は六日午後三時三十分より國都新京○○部隊本部において梅津關東軍司令官はじめ在京各機關代表五百餘名參列嚴肅に執行された、定刻まづ祭典は修祓、招魂、獻饌等に次いで在京各機關代表の弔辭、弔電披露あり、次いで祭主○○部隊長及び梅津關東軍司令官、遺族代表の玉串奉奠あり同五時慰靈祭は嚴肅裡に終了した

防火標語入選者
“ポンプで消すな注意で防げ”

首都警察廳では來る十月二十三日より廿九日までの一週間消防協會をはじめ全市各部門を動員して防火の趣旨徹底の諸行事を實施するがさきに募集した防火宣傳標語日文四七八、滿文四六二點は審査の結果左の十八名が入選と決定した

▲一等「ポンプで消すな注意で防げ」新京特別市白菊町三丁目山下知彥
△同「火の氣は消しても用心消すな」滿鐵々道工場內江頭幸吉
△二等特別市和泉町二丁目井崎富太郎、同哈爾濱新安埠安須衞藤島一比吉、同市大馬路二葉文計
△三等新京特別市安達街赤坂きみ、同南湖々畔嘉家寅次同三經路覺信莊森勝子、同新京特別市淸和街高原朝風

田中中銀總裁けさ東上

田中中銀總裁は來る九日安東に開催される第三回全滿銀行大會出席のため七日午前八時十分新京發ひかりで南下、大會をすませて後九日安東發朝鮮經由東京へ向ふ豫定である東京に於ては新內閣要路を歷訪挨拶をなすと共に財界各方面に對しても新國際情勢に對處する滿洲國側の金融政策につき說明諒解を求め、當面の資金方策並に來年度資金計畫

琿春炭礦 開業披露

九月二十九日設立開業を見た琿春炭礦株式會社は六日午後六時半から新京ヤマトホテルで披露を行つたが、開宴に先立ち社長中村直三郎氏の挨拶ならびに重役の紹介、事業の概要談があり、親會社滿炭理事長河本大作氏の琿春炭礦開掘に至る迄の經緯と將來の有望、滿炭との關係に就て挨拶があり、產業部大臣代理廣瀨燃料科長來賓を代表しての祝辭あり終つて開宴、關係各方面の代表百余名出席盛宴であつた

等についても連絡協議を行ひ今後に於ける滿洲國々際收支並に圓ブロツクに於ける綜合國際收支の改善策についても隔意なき意見の交換を遂げ月末頃歸任の豫定である

この間大へん暖かだつた日にブラリと寬城子に現れた滿映の根岸寬一氏「いゝ天氣ぢやなあ！」をさも感に堪へたやうなこと言ひながら、空を見たり紅葉がかつた樹木を見たり足の赴くまゝに撮影所から遙か離れたところに行つてしまつた▼撮影所ではやれこれから會議をやるといふのに部長は何處へ行つたんだと大慌てでそのうち遠景にポッリ浮んだそれらしい人物を見付けて安心したのだつたが、このプロデューサーにこの詩情あり、別な意味からも喜べたことであつたらう

けふの天氣 西寄りの風稍々强く晴れ時々曇り
きのふの氣溫 最高一六度四 最低六度四

女人果（じよにんくわ）

小栗虫太郎 作
中島喜美 畫

(百六十九)

腕くらべ（9）

『ぢや、一つ、やつて頂きませうか。だが夫人、このシンガポール、上海間は間諜の道と申します。銃口は、到るところ、あらゆる機關のものがあります。やつて頂きませう。しかし、ナピエルコウスカと知れたとき、われ〳〵は栖にはなりませんよ。』

デイタは、とたんに慄つとなつて、紙のやうな顏になつた。

赤、白の、暗躍がらむテロ行爲のかず〳〵は、いかなる場所、群衆のなかでもおこなはれる。

これでは、靡などはとうてい立てられず、たゞ一切を成行きに任すほかはないと觀念した。

やがて二人は、甲板をゆるりゆるりと歩いて往つた。

『いかゞ、夫人』

しかしデイタは、薦めた紙巻を情なくことはつた。

かうして、運命の歯車にまきこまれた不思議な一日を、シャルパンチエ氏は、シニョレ航空機會社はいづこへ運んでゆかうとするのだらう。

やがて、二人は一等の七號にはいつて往つた。

とつ突きが、オークの家具で英國風の裝飾、客間は、ふんわりしたプロヴアンス風のものだつた。

しかし、やがてデイタはあつと叫ぶところだつた。

紙幣が、千法の束でいつの間にかポケットにある。

『シャルパンチエさん、わたくしには、あゝいふ大金を頂戴するいはれが御座いませんの。お返しいたしますわ。まだ、マダム・ナピエルコウスカと勘ちがひをしてゐらつしやる……』

間もなく、デイタは食堂で手厳しくいつた。

『いや、お氣遣ひなく……。あれは、この國の習慣でしてな。現金か、クレデイットのある場合には、三分戻しを差しあげる。ハ、、、、、。また貴女は、此處でナピエルコウスカが自分でないと仰言るのでせう。』

『では、確證が御座いましても、別人でも、似てゐても、別人で御座いますわよ。』

『お顏は、とんと存じませんのですが。しかし貴女が、ナピエルコウスカであることには確證があるのです。』

『それは、』

しかし、シャルパスチエは薄笑をうかべ、紫煙でまぎらはせてしまつた。

して見ると、顏も知らなければ、面識さへもないのに、どこでこの男はナピエルコウスカと斷定したか。

シャールパンチエは、續けて合點が往つたやうに、大風な頷きをして、

『分りました。なるほど、あの系統に、大變な義理立てをしてゐらつしやる。よろしいでは手前のはうは實地性能試驗とゆきませう。夫人、あの一系が狼なら、われわれは章魚です。じつは、上海に一機陸揚げした機體があります』

デイタは、いよ〳〵遁れられないのを知つて、もの悲しくなつて來た。

これだ。

船中唯一のポーランド人。しかし問題は……なによりも知らなければならぬのは、ほんもののナピエルコウスカである。

『よく御存知でしたわね』

デイタは、はじめてナピエルコウスカを裝ひ、白々しげに向ひかけた。

『私が、この船にのつてゐたのを、どうして御存知？』

『そりや、私どもにも、諜報があリますからね。まづ、スイス御滞在の頃から……。十一時ロオザンヌ發、五時一分リヨン停車場着――。それにどうです。あなたが質素なお服裝で、お發ちになつたことさへ、分つてゐるのです。』